

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度分「一部、令和7年度含む」)

静岡県立静岡農業高等学校

目 次

□□□□□	事務事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
□□□□□	事務執行の根拠法令調・・・・・・・・・・・・・・・・	27
□□□□□	学校施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
□□□□□	在籍生徒調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
□□□□□	入学志願者及び入学者数調・・・・・・・・・・・・	32
□□□□□	卒業生の動向調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
□□□□□	生徒の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
□□□□□	授業料収納状況調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
□□□□□	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	40
□□□□□	過年度分収入未済額調・・・・・・・・・・・・・・・・	41
□□□□□	現金出納調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
□□□□□	保管現金有高調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
□□□□□	預金調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
□□□□□	郵券等受払調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
□□□□□	材料品受払調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
□□□□□	歳入歳出外現金調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	49
□□□□□	委託料に関する調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
□□□□□	負担金支出調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
□□□□□	建築工事調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56
□□□□□	公有財産調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	60
□□□□□	借地借家等調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
□□□□□	行政財産貸付・使用許可調・・・・・・・・・・・・	63
□□□□□	職員公舎管理状況調・・・・・・・・・・・・・・・・	65
□□□□□	主要備品調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66
□□□□□	動物管理状況調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	68
□□□□□	生産物受払調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	69
□□□□□	職員調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
□□□□□	職員の年齢調・・・・・・・・・・・・・・・・・・	81
□□□□□	健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・	82

□□□□□

事務事業の概要

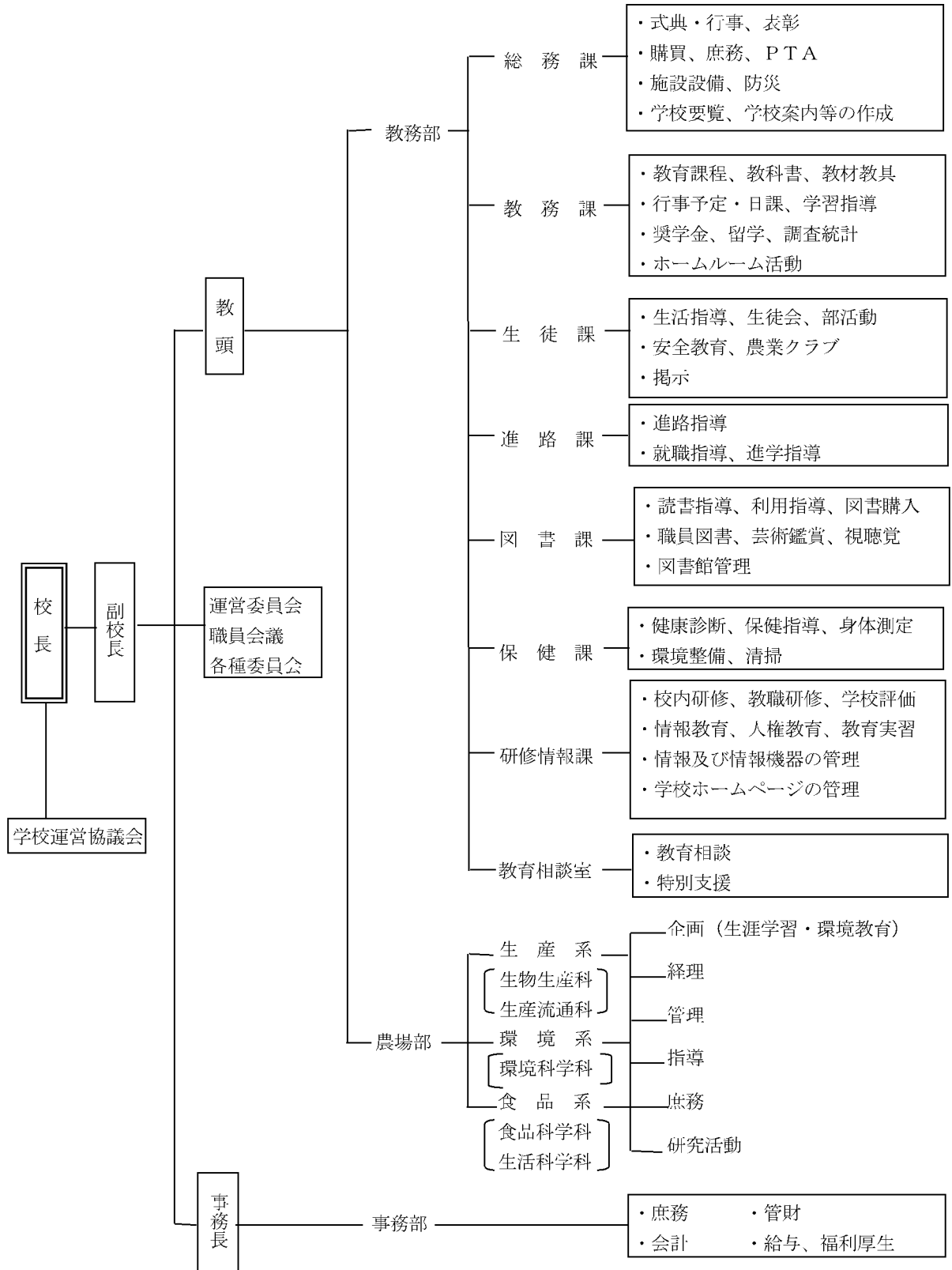
1 概況

(1) 学校の沿革

大正3年12月7日	文部省実業学校規定により、安倍郡豊田村曲金に安倍郡立農学校乙種として設立許可
4年4月1日	第1学年40人、第2学年39人、入学許可・入学式挙行
8年3月28日	甲種に組織変更を許可され、校名を安倍農学校と改称
11年4月1日	県立に移管され、校名を静岡県立安倍農学校と改称
15年4月1日	本校に静岡県立農業補習学校教員養成所併設
昭和6年2月6日	校名を静岡県立静岡農学校と改称
11年12月23日	静岡市古庄525番地に移転、敷地26,730.70㎡並びに実習地19,256.83㎡買収
13年7月21日	静岡市古庄の新校舎に移転完了
16年4月1日	農業土木科新設（定員50人） 1学年定員は農業科100人、農業土木科50人、計150人
19年10月28日	併設の静岡県立青年教員養成所、島田町に独立移転
23年4月1日	安倍郡美和村油山に演習林72,787.09㎡買収 新学制により静岡県立静岡農業高等学校として発足 園芸科新設（定員50人）、農業科定員100人を50人に減 1学年定員は農業科50人、園芸科50人、農業土木科50人、計150人
23年9月1日	定時制課程（昼間農業科）を併設（定員40人）
24年1月15日	安倍郡有度村有度中学校に分校（定時制課程・夜間農業科）設置（定員40人）
28年4月1日	有度分校（定時制課程・夜間農業科）募集停止
28年9月20日	静岡市国吉田に柑橘園10,899.21㎡買収
30年4月1日	定時制課程（昼間農業科）募集停止
37年4月1日	農業科募集停止、食品化学科新設（定員50人） 1学年定員は園芸科50人、食品化学科50人、農業土木科50人、計150人
38年4月1日	柑橘科新設（定員80人）、農業土木科定員50人を90人に増 1学年定員は園芸科50人、柑橘科80人、食品化学科50人、農業土木科90人、計270人
39年3月27日	鉄筋4階西校舎竣工（第1期）
40年3月28日	鉄筋4階本館校舎竣工（第2期）
41年4月1日	造園科新設（定員40人）、農業土木科定員90人を40人に減 園芸科・食品化学科各定員50人を40人に減 1学年定員は園芸科40人、柑橘科80人、食品化学科40人、農業土木科40人、造園科40人、計240人
42年3月31日	鉄筋4階本館校舎竣工（第3期）
42年12月28日	体育館兼講堂竣工
44年3月25日	静岡市北沼上井戸ヶ谷に柑橘園20,483㎡買収

50年4月1日	園芸科・柑橘科をくくり募集（定員120人） 1学年定員は園芸・柑橘科120人、食品化学科40人、農業土木科40人、造園科40人、計240人
54年3月24日	後援会所有井戸ヶ谷農場実習地1, 202㎡を県に移管
3月27日	グラウンド内国有地2, 426㎡買収
58年4月1日	柑橘科生活科学コース新設（女子、定員40人）、園芸科・柑橘科のくくり募集を分離し各定員40人とする。 1学年定員は園芸科40人、柑橘科40人、食品化学科40人、農業土木科40人、造園科40人、柑橘科生活科学コース40人、計240人
61年4月1日	柑橘科生活科学コース廃止、生活科学科新設（定員40人） 1学年定員は園芸科40人、柑橘科40人、食品化学科40人、農業土木科40人、造園科40人、生活科学科40人、計240人
平成3年4月1日	食品化学科廃止、食品科学科新設（定員40人） 1学年定員は園芸科40人、柑橘科40人、食品科学科40人、農業土木科40人、造園科40人、生活科学科40人、計240人
6年4月1日	園芸科・柑橘科・造園科・農業土木科廃止 1学年定員は計240人 生産系（生物生産科・生産流通科をくくり募集（定員80人）） 環境系（環境科学科（定員80人）） 食品系（食品科学科・生活科学科をくくり募集（定員80人））新設
11年3月23日	S R C 5階本館校舎竣工（7, 613. 34㎡）
12年3月31日	ハンドボールコート、テニスコート他外構工事完成
17年4月1日	静岡市の政令指定都市移行に伴い静岡市葵区となる。
18年1月30日	体育館耐震工事完了
22年3月9日	食品科学実験実習棟耐震補強工事完了
22年8月6日	部室棟改築工事完了
22年12月10日	製茶工場、農業土木造園実習棟、プール付属棟耐震工事完了
24年2月29日	園芸実習棟改築工事、造園実習棟耐震工事完了
26年9月20日	創立100周年記念式典を挙げる
29年9月8日	食品加工実習棟食品製造実習室2空調設備設置工事完了
令和2年6月22日	普通教室18室及び調理室空調設備設置工事完了
4年3月10日	屋外トイレ改築工事完了
4年3月11日	造園CADシステム整備
4年3月15日	複合温室制御装置整備
5年1月31日	体育館LED照明器具更新工事完了
6年4月1日	環境系（環境科学科）定員80人を40人に減 1学年定員は200名 生産系（生物生産科・生産流通科（定員80人）） 環境系（環境科学科（定員40人）） 食品系（食品科学科・生活科学科（定員80人））
6年9月20日	創立110周年記念式典を挙げる

(2) 組織図



2 目指す学校像

スクール・ミッション

静岡県中部地区の3系列、5学科を有する全日制農業科専門高校及び静岡県の農業教育中心校として、「真実・自律・友愛」の校訓のもと、常に「生徒と共に、地域と共にある」ことを目標に、実践的な農業教育を推進し、感謝の気持ちや思慮深さ、チャレンジ精神や創造力・想像力・実践力を持ち合わせた地域でリーダーシップが取れる人材の育成を目指す。

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>「農こそは国のもとなり」の理念のもと、知る力、活かす力、応える力を発揮できる人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かな人間性と基本的な生活習慣を身に付け、求めて学ぶ姿勢の育成 農業教育を基盤とした学びと、各学科における専門的知識と技術・技能の習得 これからの社会を生き抜く力と地域社会に積極的に関わり、貢献するための資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 充実した授業による基礎学力保障とともに、実践的な実験・実習 自己目標の明確化と自己実現のための3年間を見通したキャリア教育 学びを生かすための積極的な地域交流・地域貢献等の多様な学びと体験の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の校訓及び教育目標に共感し、地域社会に貢献する高い志を持つ生徒 農業・環境・食品等に対する興味・関心を持ち、主体的に学ぶ生徒 基礎学力を有するとともに、実験・実習等に積極的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 基本的な生活習慣を確立するとともに、教養力を高め、心豊かな人間性を育む教育の推進と安全・防災意識の高揚に努める。

イ 求めて学ぶ姿勢を育て、農業教育を基盤とした学力向上と専門的知識・技術の習得とともに、プロジェクト学習等の特色ある充実した授業により、魅力ある学校づくりを推進する。

ウ 産学官及び地域連携・地域貢献等の教育活動を推進することで、コミュニティスクールとして地域に信頼される学校を目指す。

エ 学系及び学科、学年、分掌等の連携を推進し、生徒指導及び教育相談、キャリア教育等の充実を図るための体制を構築する。

オ 学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成を図る。

カ ICT活用及びネットワーク等の環境整備・充実とともに事務処理等の効率化を図る。

キ 経営計画に沿った教育活動の充実のために、良好な学習環境の整備・充実を図る。

ク 農業科関連部門において、望ましい農業生産工程管理及び食品衛生等の管理を確立する。

ケ 教職員の働き方改革に取り組み、ワークライフバランスを推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

A:十分目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった

B:おおむね目標を達成することができた D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	成果目標	評価	成果と課題
1 豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	生徒会とPTA安全委員が合同で行う街頭指導の実施	春・夏・秋・年末の交通安全週間に合わせた街頭指導が行われ、のべ11名のPTA安全委員に参加頂き、本校周辺で挨拶及び交通安全を呼び掛けた。	B 街頭指導に参加した保護者から、流通通りの交通量の多さと、人・自転車・バイク・車が混在する中で、本校生徒のマナーの良さに驚いたとお褒めの言葉をいただいた。しかし、遅刻ギリギリで登校する生徒に対する心配の声があった。生活習慣の改善に向けての呼びかけが必要。
	千代田消防署と連携した防災訓練の実施	2回防災訓練を行った。例年2回目の訓練では静岡市千代田消防署の協力で訓練を行っていたが、本年度も日程が合わず実施できなかった。	静岡市千代田消防署と行う訓練の内容を、再考しなくてはいけない。避難所開設ゲームなどを使い、生徒に防災について考えさせたい。
	地域防災訓練参加率80%以上	地域防災訓練は、積極的に生徒の参加を求める町内と、一部の役員だけで行う町内との差が大きく、参加率は悪いが、生徒の意識が低いわけではない。	来年度以降も、状況を見て判断させる。学校としてもフォローを考える。
	定期的な登校指導、挨拶運動の実施	登校指導を年間24回、挨拶運動を6回と計画通りに実施できた	A 学年による格差は多少あるが、合格率は昨年同様高かった。しかしながら、頭髮に関しては個人的に指導が難しい生徒もでてきている。今後検査の在り方を検討する時期に来ているのかもしれない。
	身だしなみ検査初回合格率の全校平均85%以上	身だしなみ検査初回合格率は90.4%で、目標数値を達成できた	
	年間貸出数を全校で2,500冊、一人当たり4冊以上	全校の貸出差数は1/17時点で既に2,450冊となっている。3月末には一人4冊以	A 貸出冊数の目標は、達成することが出来た。引き続き図書館利用が増えるよう、快適な環境作りや新たな活用方法を考えていきたい。

		<p>上を達成する見込みである。</p> <p>9月6日全校生徒を対象に芸術鑑賞教室を実施し、琉球伝統歌舞「琉神」による演奏・舞踊を鑑賞した。体験コーナーも含め生徒から好評を得た。</p>		<p>目の前で生の歌舞・演奏や演劇を鑑賞できる芸術鑑賞教室は、演者の熱量をダイレクトに受け、感動を得られる貴重な場となっている。豊かな感性を育む機会として来年度以降も実施していきたい。</p>
	<p>朝食摂取率 年間平均97% 以上を目指す。</p>	<p>朝食摂取率調査を2回(1、2学期)、全校で実施した。結果は6月95.7%、10月96.2%であった。</p>	B	<p>1、2学期ともに事前から朝食摂取の意識付けのために、生徒やクラス担任への呼びかけを行った。目標の97%には届かなかったがそれに迫る数値となった。3年生の不摂取が目立ち今後の課題である。朝食を摂取しない生徒の個別指導や生活習慣等も指導していきたい。</p>
	<p>学校生活を含め不安を感じている新生生に対して、安心して高校生活を送れるように早めに対策を講じる。必要に応じてスクールカウンセラーとのカウンセリングを実施する。</p> <p>体調面から心身の状態を把握し必要な生徒には早めに面談等を実施し見守る。</p> <p>相談したい時にいつでも相談できる体制を整える。</p>	<p>新生生全員に対する1分間カウンセリングの実施</p> <p>シグマテストの実施(1年生)</p> <p>スクールカウンセラーとの連携</p> <p>全学年の生徒に対して、学校生活に関するアンケートの実施(1学期)</p> <p>相談室の常時開放</p>	A	<p>5月末に1年生に1分間カウンセリングを実施した。(おおよそを含めて)90%の生徒が学校生活に満足していると回答した。</p> <p>気になる生徒については担任教諭から改めて話を聞いていただき、教員間で情報を共有し見守っている。</p> <p>全校生徒にアンケートを実施した。現在のところ、87%の生徒が学校生活に満足している(どちらかといえばも含めて)と回答している。</p> <p>体調面に関しては、酷暑のせい約3割の生徒が頭痛、睡眠不足などの体調不良を訴えている。面談希望の生徒には担任教諭から話を聞いていただいた。今後も継続して見守りを実施していく。</p> <p>生徒自ら相談室を訪問することは極めて少ない。各担任教諭の手厚い見守りのおかげである。</p>

	関係法規を遵守時、安全点検を日常的及び定期的に（年5回）実施する。	中間、期末テスト期間に定期点検を行った（年5回）。関係法規に基づき安全点検表を整備した。8月に HACCP（食品安全）講習会を実施した。重大事故発生なし	A	点検項目を明確にし、記録（可視化）することができた。落下物の排除や棚固定の確認を目視で行い、日常的に安全・安心な教育環境の維持を行っている。改善項目が可視化され、現状把握や修繕更新申請につなげるようになったが、施設・設備の老朽化にともなう不備は長期的な取組みが必要となる。
2 生徒の学ぶ意欲を高め、論理的、科学的思考力の育成と特色ある教育活動の展開	漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施	計算力テスト、英単語テストを予定通り実施した。漢字テストは、業務の見直しにより年間6回実施した。	B	計算力テスト、英単語テストを予定通り実施した。他のテストより漢字テストのみ回数が多いことは、以前より懸案とされており、今回業務の見直しを行った。
	平成30年告示の学習指導要領への対応	平成30年告示の学習指導要領についてシラバスや年間指導計画の作成支援と取りまとめを行い、県教委の指導を受けつつ対応を行った。	A	学習指導要領に関する対応は良好だった。来年度教育課程について、クラス減及び教員定数減への対応として総合選択科目を見直した。総合選択の在り方については、来年度も継続して検討する。
	授業参観週間において、BYODを含むICTを活用した授業を公開する。 年間の研修テーマとして「授業改善のためのICT研修」を継続し、県総合教育センターと連携して教員の応用力向上のための研修を実施する。	授業参観週間において、ICTを活用した授業を行い積極的に公開した。（6月） 8月に Classroom による Meet や GoogleChat の活用法と実践、ChatGPT の有用性とその弊害を職員全体研修で行った。9月の定期訪問では、「授業改善のためのICT研修」の研修を行い、4名の教諭の具体例を通して、ICT活用についての理解をさ	A	授業やHR活動でICT活用が着実に定着してきている。今後もICTを効果的かつ有効に活用する授業を推し進めていきたい。 今年度からBYODが全学年で本格的にスターとした。Classroomの作成・配信・確認や、外部のWebアプリの活用など着実に前進している。運営、管理体制等の整備も少しずつ解決している。Classroomの活用法を中心としたICT活用の理解を深め、授業改善へと活かしていく研修を行うことができた。生徒、教員ともデバイスを全員持っているので、積極的、意欲的な活用を今後も継続的に考えていきたい。

		らに深めた。 授業参観週間において、さらにICTを活用した事業を行った。(10月)		
	各種発表、競技会県大会において複数の入賞 農業鑑定競技会全国大会において入賞4件以上	【県大会】 意見発表 最優秀2人 優秀1人 (出場者全員入賞) 平板測量競技会 最優秀 【関東大会】 意見発表 優秀2人 【全国大会】 10月岩手大会 農業鑑定競技 6人入賞(優秀賞)	A	意見発表では、生産系では昨年に続き、関東大会に複数名参加した。環境系では平板測量競技会2年連続最優秀を取得し、知識・技術の高さを示した・代表者選考まで校内指導体制が確立されており、充実した指導が行われている。農業鑑定競技会では、新しい区分に対応することができた。農業電子図書館を導入した成果が出ている。プロジェクト発表校内大会では、地域連携・課題解決型の研究発表が増加した。今後更に発展・充実させたい。
3 キャリア教育の充実と生徒一人ひとりの進路実現	就職、進学決定率98%以上 1、2年キャリア講演会、進路ガイダンス、3年生就労に関する講話等の実施	1月中旬において就職、進学決定率97% 就職内定者94名(一般企業88名、公務員6名) 進学者111名(四年制42名、短期大学17名、専門学校等52名) キャリア講演会、進路ガイダンス、就労に関する講話等は計画通りに実施することができた。	A	目標の98%はほぼ達成可能な状況となっている。面接指導、小論文指導、進学補講、全職員による指導体制が成果に結びついている。 Handy 求人管理システムの導入により、生徒個々の端末で時や場所を選ばず求人情報が検索できるようになった。 GoogleClassroomでの進路情報の伝達や、就職用の履歴書のPCでの作成などにより、就職指導が円滑に行われた。
	「アグリマイスター顕彰制度」への申請を年20件以上、すすめる。 日本農業技術検定の2級合格10	アグリマイスター17名認定(前期) シルバー4名(後期) プラチナ1名 ゴールド3名 シルバー9名 農業技術検定2級15名合格	B	FFJ検定中級を新設した成果もあり、前年度比10人増加したが目標には届いていない。 制度に準じた資格取得、学習活動の機会を増やし、生徒への周知を強化する必要がある。 農業技術検定は全学系指導が充実し、合格率は全国を上回っている(7月実施:

	名以上	(第1回:7月) 2級 8名 3級 113名 (第2回:12月) 2級 7名 3級 27名		3級校内 83%全国 67%、2級校内 73% 全国 24%) 3級受験を2年生で実施しているため、 2級受験増加に向けた継続指導が難しい。
4 学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成	P T Aと連携した教育講演会の開催及び静農祭での取り組みを活性化する	本年度は110周年記念講演があるため教育後援会という名称は使わなかった。講師は卒業生でもあり爬虫類動物園 iZooの園長白輪剛史様を招き、「夢を実現するために大切なこと」という題目で講演を聞くことができた。P T A総会とは別日ではあったが、P T A会長を中心に同窓会役員の参加もあった。 制限のない静農祭が開催されたP T A模擬店は開始時間を1時間遅らせ、P T A役員も生徒の活躍・発表を一緒に楽しむことができた。模擬店は、押し餅・切り餅・磯辺焼、お汁粉、フルーツ、田舎こんにやくを販売することができた。	A	来年度は、講師に東京・パリパラリンピック車いすバスケット選手の藤本怜央選手を迎え、健常者として生きている生徒に、挫折とそれを乗り越える力、仲間・家族の大切さ、スポーツや文化のすばらしさを伝えたい。 今年も、大盛況・完売となり、生徒と共に静農祭を盛り上げることができた。

	部活動県大会以上の壮行会実施	3年生運動部の壮行会を4月に実施してその後は県大会・東海大会・農業クラブの壮行会を実施した。	A	全国高校総体で女子ハンドボール部が3年連続で東海大会に出場した。 3年の□□□□さんが全国高等学校スポーツクライミング選手権大会に出場した。
	部活動の目標と活動成果を共有する地域連携活動の実施	部活動の目標については、4月の部活動オリエンテーションを通じて共有し、活動成果については年度末に報告会を実施した。 3年生運動部の壮行会を4月に実施してその後は県大会、東海大会、農業クラブの壮行会を実施した。		
5 産学官や地域との連携・貢献活動等による農業高校魅力化の推進	校外でのイベントに積極的に参加する。 学校祭農場販売で積極的な地域交流を行う。	学校見学会には多くの中学生に部活動を披露した。校外のイベントがあれば積極的に参加をしている。部活動単位だけではなく、友愛委員で声掛けを行い、ボランティアにも積極的に参加している	A	学校祭においては、本年度より制限を設けずに実施して、多くの一般のお客様が来場して学校祭を無事行うことができた。また吹奏楽部や園芸部、食品科学部を中心に地域との交流イベントを積極的に実施した。
	各学系・学科で講師招請や現場見学、交流活動を実施する。全ての専門科目において端末を活用したプロジェクト学習を推進する。	県の事業、大学との連携等を活用し、全ての学系で講師招請を実施した。関係団体と連携したインターンシップも実施（土木系列） 端末を活用した学習活動が導入2年目で定着した。生徒は、学習記録（画像撮	A	年度当初に予定された講師招請以外にも、JAや大学、関係団体から協力・要請もあり多くの講師を招請することができた。 現場見学や産官学連携、イベント参加機会や要請はあるが、時間的、費用的制約もあり実現できないものもあった。 地域交流や連携で学ぶ機会も増えてきている。SNSでの情報発信も大幅に増加した。 学級減の影響や学習内容との関係性も考慮し、連携する対象や内容を精査していく必要がある。

		影含む)、ファイル共有、情報伝達、発表活動を主体的に活用している。 農業電子図書館を生徒端末に全員登録したことで、関係情報の閲覧・収録が改善された。		
6 学校の情報化と校務処理等の合理化推進	学校行事等は積極的にホームページにアップする。(週1～2回以上を目安とする) SNSを個人情報保護に配慮しつつ適切に活用する。	ホームページの定期的な更新を行い、その回数や頻度をできる限り増やした。 SNSを個人情報保護に配慮しつつ、適切かつ積極的に活用した。	A	学校行事だけにとどまらず、普段の学校生活における生徒の授業や実習の様子などもハイペースで更新することができた。 SNSを適切に活用・配信し、学校広報に一役買うことができた。
	事務処理や会計処理に関する定期的な研修機会の確保と、合理化を図るための業務改善に取り組む。	文書事務の効率化の取組：4月から実施 チャットによる職員間の連絡方法の改善：9月から実施 会計物品事務研修会の実施1回	A	文書受付事務が大幅に短縮され、事業の取組が以前より迅速になった。また、チャットを活用することにより教職員に「情報を自分から取りに行く」という意識が醸成されるとともに、職員間の連絡が簡便になり業務の合理化が図られた。
7 教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進	夏・冬休み期間に、休暇取得促進日を設定 定期テスト2日目に、定時退勤日を設定 作業目標スケジュールによる業務管理	期間中多くの職員が休暇を取得している。農場管理、部活動の大会等もあり、100%の取得は難しい。 定時退勤日が定着した。 会議などで作業目標スケジュールを使用し、分かりやすい説明を行う等、定着しつつある。	A	休暇取得促進日を増やし、休暇を取得しやすい環境を作る。 定時退勤日だけでなく、平常時でも早く退勤できるように呼び掛ける。 作業目標スケジュールを共有するシステムの構築が必要である。 事

<p>8 教育予算の 効果的運用と 施設・設備の 計画的な維持 管理</p>	<p>監査、会計物品 検査での指摘件 数をゼロにする。</p> <p>定期的に施設設 備の点検を行 い、施設設備に 起因する事故発 生をゼロにする。</p>	<p>「監査」「かいの 例月検査」「会計 事務指導検査」 での指摘件数は ゼロであったが、 「物品検査」で は「注意」の指 摘があった。</p> <p>年3回の安全点 検を行い、施設 設備に起因する 事故発生はゼロ であった。</p>	<p>B</p> <p>物品管理について「注意」となったため、 今後は4月の借受物品登録時と年1回 の備品点検において確実な確認を行って いく。</p> <p>日頃から技能員、業務員による施設設備 の確認を行っており、台風や大雨の際に は事前に問題点に対処し事故を未然に 防ぐことができた。また教職員による安 全点検により危険予測ができ、対策を取 ることができた。</p>
--	--	---	--

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携した保健・相談活動及び交通安全、災害発生を想定した防災訓練等を機能させ、関係機関等と連携を図り安心・安全で充実した教育活動を推進する。 ・全教職員による生徒への声掛け指導を継続的に実施し、さわやかな挨拶、正しい言葉遣い、整った身だしなみを身に付けさせる。 ・読書や芸術鑑賞等の体験を通して豊かな知識、教養を身に付ける。 ・朝読書の実施 ・図書館だよりの発行 ・朝食摂取率を高めることで生徒の1日の安全で活発な活動に繋げる。継続的に指導・呼びかけを行う。 ・新入生全員に対する1分間カウンセリングの実施 ・スクールカウンセラーとの連携 ・全学年の生徒に対して学校生活に関するアンケートの実施(1、2学期) ・相談室の常時開放 ・5S活動を基本とし事故防止や安全、衛生指導を徹底した実習環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会とPTA安全委員が合同で行う街頭指導の実施 ・外部団体と連携した防災訓練の実施 ・地域防災訓練参加率75%以上 ・定期的な登校指導、挨拶運動を年間20回以上実施 ・身だしなみ検査初回合格率の全校平均85%以上 ・全校生徒対象の芸術鑑賞教室を9月に実施する。 ・年間貸し出し数を全校で、2,400冊、一人当たり4冊以上 ・図書館だよりを年10回、図書館報を年度末に発行する。 ・朝食摂取率年間平均97%以上 ・学校生活を含め不安を感じている新入生に対して、安心して高校生活を送れるように早めに対策を講じる。必要に応じてスクールカウンセラーとのカウンセリングを実施 ・体調面から心身の状態を把握し必要な生徒には早めに面談等を実施し見守る。 ・相談したい時にいつでも相談できる体制を整える。 ・関係法規を遵守し、日常的及び定期的（年5回）に安全点検を実施する。
2	生徒の学ぶ意欲を高め、論理的、科学的思考力の育成と特色あ	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストと計算力テスト、英単語テストを年間6回ずつ実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施

	る教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の現状に対応した教育課程及びシラバス、年間指導計画の作成と実施、観点別評価の計画と実施 ・「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を展開するとともに、一人一台端末を前提とした、ICT活用教育をさらに推進していく。 ・学校農業クラブ活動を通して、学校の特色を活かし、地域に密着した実践的で魅力ある教育活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級減など教育課程の変化に対する対応 ・授業参観週間において、BYODを含むICTを活用した授業を年2回公開 ・年間の研修テーマとして「授業改善のためのICT研修」を継続し、県教育センターと連携して、教員の応用力向上のための研修を含み、同様の研修を年2回以上実施する。 ・各種発表、競技会県大会において複数入賞 ・農業鑑定競技会全国大会において入賞5件以上
3	キャリア教育の充実と生徒一人ひとりの進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観や職業観を育成するため、3年間を見通した進路ガイダンスを、各学年で計画的に実施する。 ・生徒が、希望や適性に合った進路決定ができるよう、学年、学系、教科と連携して支援する。 ・キャリア教育に関わる情報を生徒と保護者に発信する。 ・「目指す生徒像」に掲げる力を様々な場面で発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年における進路ガイダンスを、2回以上実施 ・就職、進学決定率98%以上を達成する。 ・生徒と保護者の端末への情報発信を5回以上 ・「アグリマイスター顕彰制度」申請者年20人以上。 ・日本農業技術検定2級合格10名以上
4	学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、部活動等での生徒の積極的な取組を学校全体で支援する。 ・生徒会・委員会・部活動で明確な目標を立て、目標達成に向けた着実な活動を推進する。 ・学校行事、部活動等での生徒の積極的な取組を学校全体で支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAと連携した教育講演会の開催 ・静農祭催事協力の活性化。 ・部活動県大会以上の壮行会実施 ・部活動の目標と活動成果を共有する地域連携活動の実施

5	産学官や地域との連携・貢献活動等による、農業高校魅力化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学系や学科、全校を挙げて取り組む交流活動や奉仕活動を計画的かつ積極的に推進する。 ・大学や産業界・行政機関等地域と協力し、地域貢献・地域連携活動を推進する。 ・学習指導要領に基づき、課題解決型プロジェクト学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭・農場販売で積極的な地域交流を行う。 ・各学系・学科で講師招請（年15回以上）実施する。現場見学、交流活動を各学系で実施 ・全ての専門科目において端末（農業電子図書館等）を活用したプロジェクト学習を実践
6	学校の情報化と校務処理等の合理化推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページやSNSを利用した活発な情報発信を推進する。 ・総務事務の集中化に向け、分掌会議等への参加による業務把握と資質を向上させるための研修機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等は積極的にホームページにアップする。（週1～2回以上を目安とする。） ・SNSを個人情報保護に配慮しつつ適切かつ積極的に活用する。 ・事務サイドからの業務見直し提案 1件以上 ・校外研修への参加 各人1回以上
7	教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に関する国・県の取組を踏まえ、達成可能な目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏・冬休み期間に、休暇取得促進日を設定 ・入試期間に合わせた、セキュリティ解除厳禁日の設定（計4日） ・定期テスト2日目に、定時退勤日を設定
8	教育予算の効果的運用と施設・設備の計画的な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に基づいた効率的な予算執行 ・法令を遵守した適切な会計処理 ・長期的視点を持った適切な施設・設備の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営予算の執行率95%以上 ・監査、検査等での指摘件数0件 ・施設・設備の不備による事故発生0件

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	(1) 地域連携活動「古庄ふれあい花の街」	商店や住民の構成が変化しつつある古庄地域の環境緑化や地域住民との交流を目的とし、3年生が「草花」「生物活用」で作成した草花をプランターに寄せ植えし、古庄駅周辺の家庭に設置した。地域住民から声をかけられることも多く、生徒の地域貢献意識も高かった。
	(2) 近隣の小学校特別支援学級との動物介在活動	静岡市立千代田小学校特別支援学級児童と、動物介在活動を通して年7回の交流を行った。生徒中心に企画を立案し実践するとともに対象者に応じた声掛けを行い、特性を有する対象児童への理解を深めた。交流後半には児童・生徒間の距離・相互理解を深化させた。
	(3) 近隣の特別支援学校との交流活動	例年通り、静岡北特別支援学校と、静岡視覚特別支援学校小学部との交流会を実施した。対象児童の特性を考慮し、動物紹介紙の芝居や視覚障害に配慮したぬいぐるみの活用した動物の触り方等の教材を研究するなど、動物を介在させたインクルーシブ教育・共生社会を理解する交流活動を実践した。
	(4) 吹奏楽部による地域行事参加	地域住民と農業高校の相互理解を促進するため、各種行事に参加して演奏による交流活動を行った。静岡市民文化祭、JA南部じまん市、七間町ARTIEシネマウインドコンサートに出演した。
	(5) 地域に埋もれた伝統野菜の栽培・普及活動	栽培農家が激減している地域の伝統野菜「かつぶし芋」「緑小豆」「白小豆」「すじなし豆」の栽培・研究を進め、静岡市内の在来作物農家と連携して種の保全を図った。また、千代田小学校5年生の「総合的学習の時間」への出張授業や、近隣こども園の園児と栽培・収穫体験を実践するなど食育活動を進めた。活動を通し、地域農業の活性化に寄与できる人材の育成を目指した。課題としては、交流や農家訪問時の移動手法及び費用の捻出が難しいことが挙げられた。
	(6) 地域イベントや子供会行事との連携活動	地域のイベントの要請に応じ、製造したパンや製菓販売に出展した。また、地域子供会の食育や料理教室を本校会場に共催し、生徒自身が子供たちに教えながら交流を進めた。日常の学習成果が販売や指導という形でアウトプットされることで、社会性や自己肯定感の向上、商品流通の実践的学習につながった。課題としては、要望数が多く、週末や長期休業中は指導者及び生徒の負担も大きい点のため、実施回数を制限しなければいけない点であった。

産学官 連携・ 交流の 推進	(1)食品系学科における県内高等教育機関及び地域産業界との連携	食品系3年生「課題研究」におけるプロジェクト学習（探究活動）の一環として、食に関する研究活動を推進し、次の連携活動を行った。 ①南アルプス植物由来天然酵母の活用（静岡大学）、②庵原地区廃棄農産物（甘夏）の加工（静岡県立農林環境専門職大学）、③三保サーモンを活用した「三保バーガー」商品開発（三保地区干物店等）。課題としては連携に関して時間的制約が多く（授業外や週休日の活動）、調整が難しいことが挙げられた。
	(2)環境系土木系列における産業人材の育成	静岡、清水建設業協会と連携し、8月に4日間のインターンシップを実施した。同系列2年生生徒16人が関係事業所での体験学習を通して職業観・勤労観を育成した。1月には、同生徒が県交通基盤部（どぼくらぶ）、関東農政局等と連携した現場見学会を実施した。連携を通して、地域産業人材（土木・緑化関係）の育成を図っており、実際に連携を通して関連事業所への就職者増加につながった。
	(3)地域の教育力を活用した教育活動	9月にJA静岡中央会による、出張授業「静岡県農業の現状とJAグループの農業振興」を実施した。生産系「地域資源活用」を受講している生徒を対象に、農業の多面的機能や農業の持つ役割について理解を深めた。JAへの進路を希望する生徒も参加し、地域産業人材（農業従事者）育成を図った。 1月に移動産学官交流講演会を開催し、地元企業と大学教授による講演を実施した。その際に、農業クラブ活動の発表として、プロジェクト発表県大会出場生徒による本校生徒の研究活動発表を行った。
地域連 携活動 の推進	(1)地域連携活動「古庄ふれあい花の街」	商店や住民の構成が変化しつつある古庄地域の環境緑化や地域住民との交流を目的とし、3年生が「草花」「生物活用」で作成した草花をプランターに寄せ植えし、古庄駅周辺に設置している。地域住民から声をかけられることも多く、生徒の地域貢献意識も高まることが期待できる。
	(2)近隣の小学校特別支援学級との動物介在活動	静岡市立千代田小学校特別支援学級児童と、動物介在活動を通して年6回の交流を行っている。生徒中心に企画を立案し実践している。対象者に応じた声掛けを行い、特性を有する対象児童への理解を深めている。交流後半には児童・生徒間の距離・相互理解が深化している。
	(3)近隣の特別支援学校との交流活動	例年通り、静岡北特別支援学校と、静岡視覚特別支援学校小学部との交流会を実施している。対象児童の特性を考慮し、視覚障害に配慮し、ぬいぐるみを活用した動物の触り方教材を研究

令和7年度		<p>するなど、動物を介在したインクルーシブ教育・共生社会を理解する交流活動を実践している</p>	
	(4) 吹奏楽部による地域行事参加	<p>地域住民と農業高校の相互理解を促進するため、各種行事に参加して演奏による交流活動を行っている。JA南部じまん市、久能マルシェ、七間町ARTIEシネマウインドコンサート、静岡はたらくクルマ展2025、しずおか建設まつりに出演した。</p>	
	(5) 地域に埋もれた伝統野菜の栽培・普及活動	<p>栽培農家が激減している地域の伝統野菜「かつぶし芋」「小豆」「すじなし豆」の栽培・研究を進め、静岡市内の在来作物農家と連携して種の保全を図っている。新たに岡部地区の「銀平芋」の栽培にも取り組んでいる。</p> <p>また、近隣こども園の園児と栽培・収穫体験を実践するなど食育活動も進めている。活動を通し、地域農業の活性化に寄与できる人材育成を目指している。課題としては、交流や農家訪問時の移動手法及び費用の捻出が難しいことが挙げられる。</p>	
	(6) 地域イベントや子供会行事との連携活動	<p>地域のイベントの要請に応じ、生徒が製造したパンや製菓を出展している。また、本校を会場に地域子供会の食育や料理教室を共催し、生徒自身が児童に教えながら交流を進めている。</p> <p>日常の学習成果が販売や指導という形でアウトプットされることで、社会性や自己肯定感の向上、商品流通の実践的学習につながっている。</p> <p>課題としては、要望が多く週末や長期休業中は指導者及び生徒の負担も大きいため、実施回数を制限しなければいけない点である。</p>	
	産学官連携・交流の推進	(1) 食品系学科における県内高等教育機関及び地域産業界との連携	<p>食品系3年生「課題研究」におけるプロジェクト学習（探究活動）の一環として、食（地域食材）に関する研究活動を推進している。連携先は、みほしるべ（静岡市）、エスパルス、関連地域産業（干物店・弁当業者等）、静岡鉄道、しずてつストア、丸子自治会など多岐にわたる。食品系2年生は、静岡県立大学及び東海大学に講師による食や栄養に関する連携を行った。</p> <p>課題としては、時間的制約が多く、のイベント参加への調整が難しいことが挙げられる。</p>
		(2) 環境系学科における産業人材の育成	<p>静岡、清水関連産業と連携し、8月にインターンシップを実施した。同系列2年生生徒40人が関係事業所での体験学習を通して職業観・勤労観を育成した。土木系列は県交通基盤部（どぼくらぶ）、関東農政局等と連携した現場見学会、緑化系列は剪定実習（造園協会）や林業体験（静岡市等）、3DCAD講習（企業）、デザイン系列は日本平動物園研修を行うなど、連</p>

		携を通して地域関連産業人材の育成を図り、実際に関連事業所への就職につながっている。
(3) 地域農産物を活用した産業人材育成		<p>校内圃場で生産されている「茶」を活用し、地域交流や探究活動を進めている。特に、2番茶以降の茶葉の新たな活用（粉末茶・後発酵）の研究を進め「世界お茶まつり」「茶草場ビジネスアワード」に参加した。地域産業への理解を深め、アントレプレナー育成を進めている。</p> <p>また、在来作物に関して農林環境専門職大学教授から講義を受け、保全・活用を学んだ。静岡市の依頼により在来そばの活用についても研究を進める予定であり、地域への理解を深め、関連産業人材の育成を図っている。</p>
(4) 大学関連学部との連携		<p>9月に「スクールインターンシップ」として静岡大学農学部大学院生2人を3週間受け入れた。また、10月には、「教職実践演習実地研修」として同大学農学部学生14人が授業見学に訪れ、本校教員と意見交換を行うなど農業教育の高大連携を進めた。</p>

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員							合計			
	教育職員						行政職員						教諭 (臨)	実習助手 (臨)	主事 (臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	部活動指導員		臨時計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主任技師	小計										本務計	
転出者				2		2	1	2				3	5									0	5
退職者	1			4		5						0	5	4	2		6	1	5	1		19	24
再任用 (退職)				6		6					1	1	7									0	7
昇任						0						0	0									0	0
転入者	1			4		5	1	2				3	8									0	8
新任者						0			1			1	1	4	3	1	4	1	6			19	20
再任用 (新任)				6		6						0	6									0	6
昇任						0						0	0									0	0
差引増減	0	0	0	△2	0	0	△2	0	0	1	△1	0	△2	0	1	1	△2	0	1	△1		0	△2

(2) 現員数

(令和7年9月30日現在)

(単位：人)

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員							合計		
	教育職員						行政職員						教諭 (臨)	実習助手 (臨)	主事 (臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員		臨時計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主任技師	小計										本務計
現員	1	1	1	50	1	4	58	1	4	1	1	7	65	4	3	1	1	4	1	6	20	85

※ (再掲) 暫定再任用教諭：週38時間45分 3人、週19時間25分 3人

(3)健康管理について

＜令和6年度＞

(目 標)

- ア 教職員定期健康診断を円滑に実施し、事後措置の徹底を図る。
- イ 学校職員衛生委員会を開催し、問題点を協議し快適な職場環境づくりを目指す。
- ウ 教職員のこころと体の健康の保持増進に努める。

(成 果)

- ア 定期健康診断は、全員が受診を完了した。
- イ 健康に対する関心は高く、人間ドック等受診者は46人、脳ドック受診者は5人であった。
- ウ VDT作業従事者健康診断は、該当者が0人であった。
- エ 健康管理医から健康診断結果の所見欄に、個々に応じた健康管理についてコメントを受けた。
- オ 毎月、学校職員衛生委員会を開催し、意見交換を行った。

(評価・改善)

- ア 定期健康診断の結果に基づき、再検査・精密検査を受けるよう強く受診を勧めた。特に12月までには受診するよう、職員への啓発に努めた。
- イ 管理職は、周囲の職員に積極的に話しかけるよう心がけ、不調がある時には積極的に受診させ、疾病の早期発見、早期治療に努めるなどの配慮を行った。

＜令和7年度＞

(目 標)

- ア 教職員定期健康診断を円滑に実施し、事後措置の徹底を図る。
- イ 学校職員衛生委員会を開催し、問題点を協議し快適な職場環境づくりを目指す。
- ウ 教職員のこころと体の健康の保持増進に努める。

(成 果)

- ア 定期健康診断は、12月10日までに全員が受診予定である。
- イ 健康に対する関心は高く、人間ドック等受診者は36人、脳ドック受診者は6人であった。
- ウ VDT作業従事者健康診断は、該当者が0人であった。
- エ 健康管理医から健康診断結果の所見欄に、個々に応じた健康管理についてコメントを受ける予定である。
- オ 毎月、学校職員衛生委員会を開催し、意見交換を行っている。

(評価・改善)

- ア 定期健康診断の結果に基づき、再検査・精密検査を受けるよう強く受診を勧めている。12月15日までには受診するよう、職員への啓発に努めていく。
- イ 管理職は、周囲の職員に積極的に話しかけるよう心がけ、不調がある時には積極的に受診させ、疾病の早期発見、早期治療に努めるなどの配慮を行っている。

(4)教職員の研修について

＜令和6年度＞

(校内研修のテーマ)

「効果的なICT活用による授業改善」

(研修内容)

ア 校内授業参観の実施

(ア)授業参観週間（1学期5月29日～6月26日、2学期10月21日～11月13日）

(イ) ICT活用の推進

(ウ) 授業参観アンケートの提出、まとめ

イ 校内職員研修

(ア) 新任者・転任者ガイダンスⅠ 令和6年4月4日(木)

テーマ「NESクライアントの活用について」校内で作成した資料を配布して研修を実施した。内容は、FAQ、常用資料の活用、メールの作成、部屋と備品の予約、スケジュールの活用などについて実施した。パスワード変更、学校代表メールからのスケジュール利用、本校掲示板、県教委掲示板、本校文書共有、ヘルプデスクへの申請、PDFの利用などについて実施した。

新任者・転任者ガイダンスⅡ 令和6年4月9日(火)

内規集を活用し、教務課長、生徒課長、副校長よりガイダンスを行った。

(イ) 校内研修 令和6年8月29日(木)

テーマ「Classroomの応用とその周辺」

フューチャーインICT支援委員 吉野様を招き、ClassroomによるMeetやGoogoleChatの活用法と実践、ChatGPTの有用性とその弊害を、職員全体で学ぶことができた。

ウ 定期訪問 令和6年11月20日(水)

校内研修会「効果的なICT活用による授業改善」

総合教育センターの山下高充教育主査、和田淳教育主査を招き、夏の研修に引き続きClassroomの活用法を中心としたICT活用の理解を深め、授業改善へと活かす研修を行った。本校4人の先生方に普段の授業内でのICT活用の具体例を紹介いただき、それを職員全体で共有することでさらに理解を深めた。

エ 不祥事根絶の取組

(ア) 校内コンプライアンス委員による月1回のコンプライアンス委員会を定期的に開催した。そのうち、2度、外部コンプライアンス委員が出席し実施した。

(イ) 職員会議、朝の打ち合わせ、人事面談を利用して、校長講話及び懲戒処分の公表や不祥事根絶の取組の紹介を実施し、教職員の倫理観、使命感の高揚に努めた。

(成 果)

ア 校内授業参観

参観者のアンケート結果からは好意的な意見が大半を占めていた。特にChromebookを中心とするICT機器を利用した授業や、「Kahoot!」や「Googleスライド」「Jamboard」を取り入れた授業への評価が高かった。6年度と同様に、参観期間を長めに取り、比較的自由的な授業参観としたことが参加率向上に繋がった。

イ 校内研修

Chromebookを導入して約1年が過ぎた。8月の研修ではClassroomによるMeetやGoogoleChatの活用法とその実践、ChatGPTの有用性とその弊害を職員全体で学び、応用的な研修を行うことができ、2学期からの授業に役立った。

ウ 定期訪問

「効果的なICT活用による授業改善」というテーマで、4人の職員から普段の授業内でのICT活用の具体例を紹介し、それを職員全体で共有することでさらに理解を深めたことで、さらに授業改善へと活かした。

エ 不祥事根絶の取組

(ア) 校内コンプライアンス委員による月1回のコンプライアンス委員会を定期的に開催した。また、第1・10回目は外部コンプライアンス委員も参加し、実施した。外部からの視点で、コンプライアンス遵守の徹底や学校に対する要望・意見等をいただいた。教職員にとっても、良い刺激となりより一層のコンプライアンス意識の醸成に役立った。

(イ)職員会議、朝の打ち合わせ、人事面談を利用して、校長講話及び懲戒処分の公表や不祥事根絶の事例等を伝達し、教職員の倫理観、使命感の高揚に努めている。

<令和7年度>

(校内研修のテーマ)

「効果的なICT活用による授業改善」

(研修内容)

ア 校内授業参観の実施

(ア)授業参観週間（1学期5月27日～6月27日、2学期10月28日～11月28日）

(イ)ICT活用の推進

(ウ)授業参観アンケートの提出、まとめ

イ 校内職員研修

(ア)新任者・転任者ガイダンスⅠ 令和7年4月4日（金）

テーマ「NESクライアントの活用について」校内で作成した資料を配布して研修を実施した。内容は、FAQ、常用資料の活用、メールの作成、部屋と備品の予約、スケジュールの活用などについて実施した。パスワード変更、学校代表メールからのスケジュール利用、本校掲示板、県教委掲示板、本校文書共有、ヘルプデスクへの申請、PDFの利用などについて実施した。

新任者・転任者ガイダンスⅡ 令和7年4月9日（火）

内規集を活用し、教務課長、生徒課長、副校長よりガイダンスを行った。

(イ)校内研修 令和7年8月26日（火）

テーマ「Classroomの応用とその周辺」

フューチャーインICT支援委員 斎藤様を招き、生成AIやChatGPTの有用性とその弊害を、職員全体で学ぶことができた。また、Classroomの応用についても学び、2学期からの授業に活かすことができた。

ウ 定期訪問 令和7年11月25日（水）

校内研修会「効果的なICT活用による授業改善」

総合教育センターの山下高充教育主査、和田淳教育主査を招き、Classroomの応用的な活用法や授業で使える有効的なWEBアプリの紹介をしていただき、授業改善へと活かす研修を行う予定である。

エ 不祥事根絶の取組

(ア)校内コンプライアンス委員会による月1回のコンプライアンス委員会を定期的に開催している。そのうち、2度、外部コンプライアンス委員が出席し実施する。

(イ)職員会議、朝の打ち合わせ、人事面談を利用して、校長講話及び懲戒処分の公表や不祥事根絶の取組の紹介を実施し、教職員の倫理観、使命感の高揚に努めている。

(成 果)

ア 校内授業参観

参観者のアンケート結果からは好意的な意見が大半を占めていたが、前期の授業見学は参加者が少なく、そこは後期へ向けての反省点および改善点である。

イ 校内研修

8月の研修では生成AIやChatGPTの有用性とその弊害を、職員全体で学ぶことができた。また、Classroomの応用についても学び、2学期からの授業に活かすことができた。

ウ 定期訪問

「効果的なICT活用による授業改善」というテーマで最終年となる。さらに授業改善へと活かしていく予定である。

エ 不祥事根絶の取組

(7)校内コンプライアンス委員による月1回のコンプライアンス委員会を定期的に開催できている。また、第1回目は外部コンプライアンス委員も参加し、実施した。外部からの視点で、コンプライアンス遵守の徹底や学校に対する要望・意見等をいただいた。教職員にとっても、良い刺激となりより一層のコンプライアンス意識の醸成に役立った。

(4)職員会議、朝の打ち合わせ、人事面談を利用して、校長講話及び懲戒処分の公表や不祥事根絶の事例等を伝達し、教職員の倫理観、使命感の高揚に努めている。

6 防災対策について

<令和6年度>

(目標)

南海トラフ地震や大雨、集中豪雨等による大規模な災害の発生が危惧される中で、生徒の生命身体を守ることを最優先として、「防災計画書」「危機管理マニュアル」の作成や防災訓練等を実施し、生徒・教職員の防災意識を高める。

(取組内容)

事 項	時期	対象	内 容
防災計画書作成	4月		警備・防災計画、台風の対応、地震防災応急計画
危機管理マニュアルの作成	6月	対策要員	生徒事故、災害等発生時の対応
防災の日訓練	8/30	対策要員	情報伝達訓練、避難者情報伝達訓練、倉庫等点検
防災訓練(地区会)	9/3	全生徒	情報伝達・動員訓練、避難訓練、施設点検
災害用伝言ダイヤル利用教室	9/5	1年生全員	171災害用伝言ダイヤルの利用方法
千代田学区自主防災会代表者会議	11/7	対策要員	行政・医療・学校・自治会の代表者が出席
地域防災訓練	11/1～ 12月中旬	全生徒	地域防災訓練への参加
防災訓練(地震)	12/14	全生徒	避難訓練、集合訓練、指導講評

(成果)

ア 8月下旬に予定されていた2学期始業式が、迷走する台風10号の影響で9月3日に延期された。そのため、始業式後に予定されていた防災訓練は、一時避難(机の下で頭を守る)を行い、対応した。

イ 9月5日(1年生対象)に、研修情報課と学年部が連携し、放送による171災害用伝言ダイヤル利用教室を実施した。個人のスマートフォン・携帯電話を使用して登録の仕方を学び、実際に利用することでイメージを掴むことができた。

<令和7年度>

(目標)

南海トラフ地震や大雨、集中豪雨等による洪水・浸水等の大規模な災害の発生が一層危惧される中で、生徒の生命身体を守ることを最優先として、「防災計画書」「危機管理マニュアル」の作成や改定を行い、防災訓練等を実施し、生徒・教職員の防災意識を高める。

(取組内容)

事 項	時期	対象	内 容
防災計画書作成	4月		警備・防災計画、台風の対応、地震防災応急計画
危機管理マニュアルの作成	6月	対策要員	生徒事故、災害等発生時の対応
防災訓練(地区会)	8/27	全生徒	情報伝達・動員訓練、避難訓練、施設点検
防災の日訓練	9/1	対策要員	情報伝達訓練、避難者情報伝達訓練、倉庫等点検
災害用伝言ダイヤル利用教室	9/4	1年生全員	171災害用伝言ダイヤルの利用方法
千代田学区自主防災会代表者会議	10/30	対策要員	行政・医療・学校・自治会の代表者が出席 市防災計画、校舎・運動場利用計画の住民周知
危機管理マニュアルの改訂	11月下旬	対策要員	生徒事故、災害等発生時の対応、様式変更
地域防災訓練	11/1～ 12月中旬	全生徒	地域防災訓練への参加
防災訓練(地震)	12/11	全生徒	避難訓練、集合訓練、地区会

(成 果)

- ア 8月下旬に予定されていた防災訓練は、暑さ対策のため、一時避難（机の下で頭を守る）を行い、集合訓練は行われなかった。その後、地区会で避難経路など確認した。
- イ 9月4日（1年生対象）に、研修情報課と学年部が連携し171災害用伝言ダイヤル利用教室を実施した。個人のスマートフォン・携帯電話を使用して登録の仕方を学び、実際に利用することでイメージを掴むことができた。

7 学校開放について

(1) 体育施設の開放

地域社会との連携を深め、家庭や地域社会と共に子ども達を育成する開かれた学校を目指し、生涯スポーツの振興及び生涯学習活動の推進に寄与するため、学校運営に支障のない範囲内で可能な限り体育施設を開放した。

<令和6年度>

施設名	利用日数 (延日数)	利用人数 (延人数)	利用者負担金	主な利用種目
運動場	11	658	電気料 36,720円	グラウンドゴルフ
体育館	275	3,291		バレーボール、バスケットボール、 一輪車、ハンドボール
テニスコート	110	1,463		テニス
計	396	5,412		

※施設開放登録団体数・・・17団体

<令和7年度>

(令和7年9月30日現在)

施設名	利用日数 (延日数)	利用人数 (延人数)	利用者負担金	主な利用種目
運動場	2	100	電気料 11,303円	グラウンドゴルフ
体育館	116	1,447		バレーボール、バスケットボール、 一輪車、ハンドボール
テニスコート	36	379		テニス
計	154	1,926		

※施設開放登録団体数・・・16団体

(2) 講座等（PTA主催講座等に協力）

<令和6年度>

区分	講座名	期間	日数	参加者	受講料
教育講演会兼 創立110周年記念 式典基調講演会	夢を実現するために 大切なこと	R6.9.20	1日	710人	0円

<令和7年度>

区分	講座名	期間	日数	参加者	受講料
教育講演会	自分らしく生きる	R7.7.10	1日	600人	0円

□□□□□

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 学校教育法（第137条）
2 学校の管理・ 運営に関する こと	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 学校図書館法（第3条、第4条） 社会教育法（第43条、第44条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第5条、第6条） 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県情報公開条例 静岡県個人情報保護条例 静岡県手数料徴収条例

□□□□□

学校施設の概要

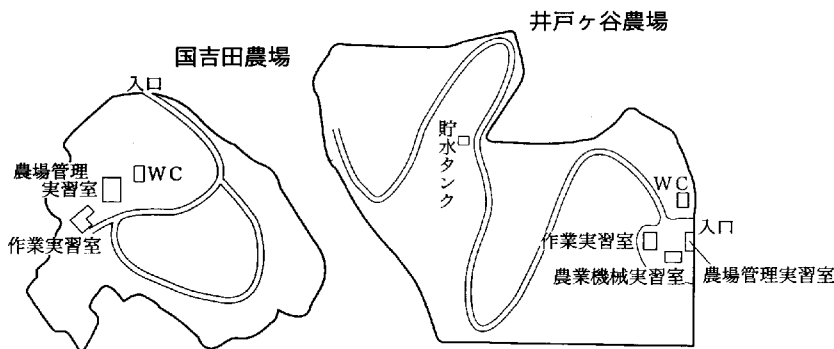
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	33,993.61	33,993.61					
内 訳	校舎敷地	21,074.61	21,074.61				
	運動場敷地	12,919.00	12,919.00				
実 習 地	52,667.15	52,667.15					
内 訳	畑	3,875.00	3,875.00				
	茶 園	3,702.00	3,702.00				
	果 樹 園	456.00	456.00				
	柑 橘 園	4,169.00	4,169.00				
	校舎敷地	14,681.09	14,681.09				
	そ の 他 の 敷 地	25,784.06	25,784.06				
演 習 林	72,786.00	72,786.00					
校 舎	建 6,123.17	<u>6,123.17</u>					
	延 13,259.69	13,259.69					
体 育 館	建 1,394.28	<u>1,394.28</u>					
	延 1,569.73	1,569.73					
武 道 場	建 543.60	<u>543.60</u>					生活館 と一体
	延 543.60	543.60					
その他の建物	建 1,572.98	<u>1,323.86</u>			<u>249.12</u>		
	延 1,922.02	1,524.63			397.39		
生 活 館	建 112.90	<u>112.90</u>					武道場 と一体
	延 217.30	217.30					
プ ー ル	1個	1個					16 × 25 m
職 員 住 宅	4戸	4戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	33,993.61 m ²	13,259.69 m ²	12,919.00 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在籍生徒調

(令和7年9月30日現在)

学年	学系別	生産系				環境系				食品系				合計											
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計								
1年	入学者	80	45	28	73	40	22	14	36	80	26	54	80	200	93	96	189								
	増加																								
	減少																								
	現在		45	28	73		22	14	36		26	54	80		93	96	189								
2年	学系別	生産系				環境系				食品系				合計											
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計								
	入学者	80	52	28	80	40	21	20	41	80	16	66	82	200	89	114	203								
2年	増加																								
	減少		3		3			1	1			1	1		3	2	5								
	現在																								
2年	学科別	生物生産系				生産流通系				環境科学系				食品科学系				生活科学科				合計			
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計				
	2年時当初		20	17	37		29	11	40		21	19	40		7	34	41		9	31	40		86	112	198
2年	増加																								
	減少									1		1			1	1						1	1	2	
	現在		20	17	37		29	11	40		20	19	39		7	33	40		9	31	40		85	111	196
3年	学系別	生産系				環境系				食品系				合計											
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計								
	入学者	80	33	31	64	80	25	39	64	80	13	64	77	240	71	134	205								
3年	増加																								
	減少		1		1						1		1		2		2								
	現在																								
3年	学科別	生物生産系				生産流通系				環境科学系				食品科学系				生活科学科				合計			
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計				
	2年時当初		11	20	31		21	11	32		25	39	64		9	28	37		3	36	39		69	134	203
3年	増加																								
	減少										1	1				1	1					0	2	2	
	3年時当初		11	20	31		21	11	32		25	38	63		9	28	37		3	35	38		69	132	201
3年	増加																								
	減少			1																			1	1	
	現在		11	19	31		21	11	32		25	38	63		9	28	37		3	35	38		69	131	200
	合計	240	126	86	213	160	67	71	138	240	54	181	235	640	247	338	585								

□□□□□

入学志願者及

(全日制)

区 分		3 年度				4 年度			
学 科 別		生 物 生 産 生 流 産 通 科 科	環 境 科 学 科	食 品 生 活 科 学 科	計	生 物 生 産 生 流 産 通 科 科	環 境 科 学 科	食 品 生 活 科 学 科	計
生 徒 定 員 (A)		80	80	80	240	80	80	80	240
募集者数 (B)		80	80	80	240	80	80	80	240
志願者数	男	32(1)	36	11	79(1)	26	44	15	85
	女	33	45	48	126	33	40	66	139
	計 (C)	65(1)	81	59	205(1)	59	84	81	224
受検者数	男	32(1)	36	11	79(1)	26	44	15	85
	女	33	45	48	126	33	40	66	139
	計 (D)	65(1)	81	59	205(1)	59	84	81	224
合格者数	男	32(1)	36	11	79(1)	25	41	15	81
	女	34	43	49	126	33	39	66	138
	計 (E)	66(1)	79	60	205(1)	58	80	81	219
志願倍率 (C)/(B)		0.81	1.01	0.74	0.85	0.74	1.05	1.01	0.93
受検倍率 (D)/(B)		0.81	1.01	0.74	0.85	0.74	1.05	1.01	0.93
入学者数	男	33	36	11	80	25	41	15	81
	女	34	43	49	126	33	39	66	138
	計 (F)	67	79	60	206	58	80	81	219
充足率 (F) / (A)		0.84	0.99	0.75	0.86	0.73	1.00	1.01	0.91

び入学者数調

5年度				6年度				7年度			
生物生産流通科	環境科学科	食生活科学科	計	生物生産流通科	環境科学科	食生活科学科	計	生物生産流通科	環境科学科	食生活科学科	計
80	80	80	240	80	80	80	240	80	40	80	200
80	80	80	240	80	80	80	240	80	40	80	200
34	27	13	74	48	32	26	106	45	23	26	94
31	39	65	135	27	22	83	132	28	14	54	96
65	66	78	209	75	54	109	238	73	37	80	190
34	27	13	74	54	28	23	105	45	23	26	94
31	39	64	134	30	21	81	132	28	14	54	96
65	66	77	208	84	49	104	237	73	37	80	190
33	25	13	71	53	21	16	90	45	23	26	94
31	39	64	134	28	20	66	114	28	14	54	96
64	64	77	205	81	41	82	204	73	37	80	190
0.81	0.83	0.98	0.87	0.94	1.35	1.36	1.19	0.91	0.93	1.00	0.95
0.81	0.83	0.96	0.87	1.05	1.23	1.30	1.19	0.91	0.93	1.00	0.95
33	25	13	71	52	21	16	89	52	21	16	89
31	39	64	134	28	20	66	114	28	20	66	114
64	64	77	205	80	41	82	203	80	41	82	203
0.80	0.80	0.96	0.85	1.00	1.03	1.03	1.02	1.00	1.03	1.03	1.02

□□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況(全口制)

学 科 別		生物生産科			生産流通科			環境科学科			食品科学科			生活科学科			計			
		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		39	30	28	40	36	30	78	76	76	42	29	38	37	29	40	236	200	212	
内 訳	(進学志願者)	(20)	(20)	(17)	(24)	(21)	(20)	(35)	(45)	(29)	(28)	(21)	(21)	(27)	(19)	(27)	(134)	(126)	(114)	
	進学者	大学・短大	16	13	8	14	6	15	10	16	17	15	10	12	13	6	7	68	51	59
		専修・各種学校等	4	7	9	10	15	5	25	29	12	13	11	9	14	13	20	66	75	55
	小 計		20	20	17	24	21	20	35	45	29	28	21	21	27	19	27	134	126	114
	就 職 者		19	10	11	16	15	10	43	30	47	13	8	17	10	10	13	101	73	98
	自 営 者																	0	0	0
進 学 準 備 者											1						1	0	0	
そ の 他									1								0	1	0	
合 計		39	30	28	40	36	30	78	76	76	42	29	38	37	29	40	236	200	212	

2 求人状況(全日制)

区 分	4年度	5年度	6年度
就 職 希 望 者 数	101	73	98
求 人 数	485	566	727
求 人 倍 率	4.8	7.8	7.4

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	生物生産科	生産流通科	環境科学科	食品科学科	生活科学科	計
卒業生徒数	28	30	76	38	40	212
2級土木施工管理技術検定	0	0	17	0	0	17
小型車両系建設機械特別教育	0	6	20	0	0	26
情報処理技能検定(表計算) (日情)準1級～3級	36	41	112	46	61	296
造園技能士3級	0	0	12	0	0	12
日本語ワープロ検定 (準2級～3級)	28	39	89	36	44	236
日本農業技術検定 2級・3級	32	31	49	27	21	160
簿記能力検定(全経)3級	26	28	6	7	4	71
食生活アドバイザー検定3級	0	0	0	0	3	3
文書デザイン検定 (1級～2級)	1	2	1	0	2	6
合 計	151	177	382	154	175	1039

□□□□□

生徒の状況

[全日制]

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年9月30日現在)(単位:人)

市 町 名	静岡市	富士市	藤枝市	焼津市	島田市	その他	合 計
生 徒 数	566	1	7	6	4	1	585
構 成 比 %	96.8%	0.2%	1.2%	1.0%	0.7%	0.2%	100%

(2) 通学方法

(令和7年9月30日現在)(単位:人)

区 分	自転車	電車	バス	徒 歩	その他	合 計
生 徒 数	434	140	1	7	3	585
構 成 比 %	74.2%	23.9%	0.2%	1.2%	0.5%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在)(単位:人)

区 分	運動部	文化部	農業部	未加入者	計	
部(クラブ)数	14	8	3		25	
男子	1年	43	29	21	0	93
	2年	48	15	22	0	85
	3年	46	16	7	0	69
	計(A)	137	60	50	0	247
	構成比	55.5%	17.4%	20.2%	0	93%
女子	1年	30	41	25	0	96
	2年	32	48	31	0	111
	3年	32	72	27	0	131
	計(B)	94	161	83	0	338
	構成比	26.6%	47.6%	24.6%	0.0%	99%
合計	(A+B)	231	221	133	0	585
	構成比	39.5%	37.8%	22.7%	0.0%	100%

□□□□□

授 業 料

(全日制)

期別	月別	調定の状況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一 期	7	24	712,800	23	683,100	21	623,700	68	2,019,600
	8								
	9								
	計	24	712,800	23	683,100	21	623,700	68	2,019,600
二 期	9	1	19,800					1	19,800
	10	28	1,366,200	20	990,000	24	1,188,000	72	3,544,200
	11								
	12	▲1	▲29,700					▲1	▲29,700
	計	28	1,356,300	20	990,000	24	1,188,000	72	3,534,300
三 期	1	26	1,029,600	20	792,000	24	950,400	70	2,772,000
	2								
	計	26	1,029,600	20	792,000	24	950,400	70	2,772,000
合計		78	3,098,700	63	2,465,100	69	2,762,100	210	8,325,900

収 納 状 況 調

(令和6年度)

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後収納額	収入未済額	
収納率				
1,960,200	97%		59,400	A. 期首収納権利発生額= 68人×9,900円×3月= 2,019,600円 (1年24人×9,900円×3月、2年23人×9,900円×3月、3年21人×9,900円×3月) B. 収納権利増減(▲)額 0円
		29,700	29,700	
		29,700	0	
1,960,200	97%	59,400	-	
				C. 収納必要額 A(-)B= 2,019,600円
19,800	100%		-	A. 期首収納権利発生額= 73人×9,900円×5月= 3,613,500円 (1年29人×9,900円×5月、2年20人×9,900円×5月、3年24人×9,900円×5月) B. 収納権利増減(▲)額 79,200円 令和6年8月31日付:転学 1年 1人×9,900円×3月=29,700円 令和6年9月31日付:転学 1年 1人×9,900円×2月=19,800円 令和6年10月31日付:認定 1年 1人×9,900円×3月=29,700円
3,346,200	94%		198,000	
		198,000	0	
▲29,700			0	
3,336,300	94%	198,000	0	
				C. 収納必要額 A(-)B= 3,534,300円
2,613,600	94%		158,400	A. 期首収納権利発生額= 70人×9,900円×4月= 2,772,000円 (1年26人×9,900円×4月、2年20人×9,900円×4月、3年24人×9,900円×4月) B. 収納権利増減(▲)額 0円
		158,400	0	
2,613,600	94%	158,400	0	
				C. 収納必要額 A(-)B= 2,772,000円
7,910,100	95%	415,800	0	D. 収納必要額= 8,325,900円

□□□□□

授 業 料

(全日制)

期別	月別	調定の状況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一 期	4								
	5								
	6								
	計								
二 期	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	計								
三 期	12								
	1								
	2								
	3								
	計								
合計									

収 納 状 況 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後収納額	収入未済額	
				A. 期首収納権利発生額= 円
				B. 収納権利増減(▲)額 円
				C. 収納必要額 A(-)B= 円
				A. 期首収納権利発生額= 円
				B. 収納権利増減(▲)額 円
				C. 収納必要額 A(-)B= 円
				A. 期首収納権利発生額= 円
				B. 収納権利増減(▲)額 円
				C. 収納必要額 A(-)B= 円
				D. 収納必要額= 円

□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	186	0

□□□□□

過年度分収入未済額調

(令和7年9月30日現在)

年度	区分	雑収	
		件数	収入未済額
令和元年度以前 (A)			円
令和2年度			
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度		1	1,200
	計	1	1,200
	摘要① (滞納処分の停止等の理由)		
	摘要② (不納欠損処分の件数、額)		
	摘要③ (A欄のうち、1件10万円以上の内訳)		

□□□□□

現 金 出 納 調

(令和6年度)

区 分	受 入 額			払出額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書兼 領収書総額及び 枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,174,550	円 1,174,550	円 1,174,550	円 0	円 1,174,550 275 枚	円 1,174,550 68 枚
生産物売払収入	0	4,797,550	4,797,550	4,797,550	0	4,797,550 5,395 枚	4,797,550 160 枚
雑入	0	31,280	31,280	31,280	0	31,280 1 枚	31,280 1 枚
計	0	6,003,380	6,003,380	6,003,380	0	6,003,380 5,671 枚	6,003,380 229 枚

□□□□□

現 金 出 納 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	受 入 額			払出額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書兼 領収書総額及び 枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,080,450	円 1,080,450	円 1,080,450	円 0	円 1,080,450 222 枚	円 1,080,450 33 枚
生産物売払収入	0	2,376,370	2,376,370	2,376,370	0	2,376,370 2,151 枚	2,376,370 73 枚
計	0	3,456,820	3,456,820	3,456,820	0	3,456,820 2,373 枚	3,456,820 106 枚

□□□□□

保管現金有高調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

現金保管者	区分	金額 (円)
静岡県立静岡農業高等学校 出納員	つり銭用資金	20,000

□□□□□

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行沓谷支店	無利息型普通預金	6 6 8	静岡県立静岡農業 高等学校 資金前渡者 校長 新林章輝	0	給与
静岡銀行沓谷支店	無利息型普通預金	3 5 8 8 8 9	(自振口) 静岡県立静岡農業 高等学校 資金前渡者 校長 新林章輝	0	光熱水費 電話料 社会保険料
残 高 合 計				0	

□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘 要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	10円券	2	20	0	0	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	報告、返信用等
	100円券	1	100	0	0	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	"
計			120		0		120		0		0		0		0	

□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高	摘要	
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額			
生葉	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	kg	円	
	0	0	1,040.0	500,520	1,040.0	500,520	0	0	824.3	488,000	824.3	488,000	0	0	
荒茶	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	268.8	722,280	268.8	722,280	0	0	246.5	731,300	246.5	731,300	0	0	
ジャム用瓶	本		本		本		本		本		本		本		
	158	12,516	720	58,370	830	67,014	48	3,872	864	73,561	854	72,508	58	4,925	
いちご	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	200	80,000	200	80,000	0	0	200	100,000	200	100,000	0	0	
ペクチン	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0.3	4,964	1.0	16,170	1.236	20,093	0.064	1,041	1.5	26,400	1.190	20,878	0.374	6,563	
クエン酸	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0.46	1,468	0	0	0.46	1,468	0	0	0.5	1,804	0.47	1,695	0.03	109	
ジャム用ラベル	締		締		締		締		締		締		締		1,000枚
	1	32,670	0	0	1	32,670	0	0	1	34,100	1	34,100	0	0	
上白糖	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	173.56	48,620	45.0	13,447	199.2	56,190	19.36	5,877	191.0	53,395	161.6	45,524	48.76	13,748	
強力粉 (小麦粉)	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	84.88	17,535	200.0	40,872	276.0	56,592	8.88	1,815	150	30,339	138	27,926	20.88	4,228	
ドライイースト	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0.59	1,049	4.5	8,931	4.68	9,155	0.41	825	2.00	4,016	2.34	4,699	0.07	142	
食塩 (パン用)	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0.36	624	6.00	10,368	5.04	8,709	1.32	2,283	2.00	3,456	2.52	4,354	0.8	1,385	
バター	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0	0	24	47,694	24	47,694	0	0	12	28,684	12	28,684	0	0	
鶏卵	パック		パック		パック		パック		パック		パック		パック		
	0	0	54	14,931	54	14,931	0	0	27	9,417	27	9,417	0	0	
スキムミルク	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	0.24	605	7.2	18,120	7.2	18,119	0.24	606	3.60	9,286	3.60	9,272	0.24	620	
ショートニング	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	18.25	14,200	0.00	0	7.8	6,060	10.45	8,140	0	0	3.90	3,033	6.55	5,107	
ガラニュー糖	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	15	4,641	12	3,732	24	7,440	3	933	12	3,732	12	3,732	3	933	
シナモン	g		g		g		g		g		g		g		
	327.2	1,115	400	1,517	600	2,152	127.2	480	400	1,787	300	1,261	227.2	1,006	
レーズン	kg		kg		kg		kg		kg		kg		kg		
	1	1,102	9	11,372	9	11,210	1	1,264	5.0	6,415	4.5	5,749	1.5	1,930	
純白ペット	枚		枚		枚		枚		枚		枚		枚		
	1,796	17,784	1,500	14,850	1,806	17,874	1,490	14,760	0	0	903	8,937	587	5,823	
ポリ袋 No.10	袋		袋		袋		袋		袋		袋		袋		100枚入
	24	3,111	10	1,760	24	3,437	10	1,434	0	0	9	1,287	1	147	
ポリ袋 No.13	袋		袋		袋		袋		袋		袋		袋		100枚入
	0	0	10	3,190	6	1,914	4	1,276	0	0	3	957	1	319	
ランナー	箱		箱		箱		箱		箱		箱		箱		12本入
	1	9,720	0	0	1	9,720	0	0	0	0	0	0	0	0	
(パン・みそ用) ラベル	袋		袋		袋		袋		袋		袋		袋		A1 24面 100枚入
	0	0	2	8,800	2	8,800	0	0					0	0	

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高 数量 金額	摘要	
	繰越		受人		払出		繰越		受人		払出				
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額			
塩(みそ用)	kg 0	0	kg 80	25,520	kg 80	25,520	kg 0	0	kg 100	8,424	kg 100	8,424	kg 0	0	
大豆	kg 0	0	kg 200	104,000	kg 200	104,000	kg 0	0	kg 210	75,600	kg 210	75,600	kg 0	0	
米こうじ	kg 0	0	kg 160	224,640	kg 160	224,640	kg 0	0	kg 160	311,040	kg 160	311,040	kg 0	0	
みそ容器	袋 20	32,010	袋 20	36,850	袋 30	51,645	袋 10	17,215	袋 0	0	袋 0	0	袋 10	17,215	50個入
薬包紙 (みそ用)	袋 0	0	袋 4	3,388	袋 4	3,388	袋 0	0	袋 0	0	袋 0	0	袋 0	0	500枚入
みかん	kg 0	0	kg 300	16,200	kg 300	16,200	kg 0	0	kg		kg		kg 0	0	
ビタミンC	g 254	2,471	g 0	0	g 45	437	g 209	2,034	g 0	0	g 0	0	g 209	2,034	
みかん缶用 水酸化ナトリウム	本 2	4,554	本 0	0	本 2	4,554	本 0	0	本 0	0	本 0	0	本 0	0	500g
みかん缶詰 空缶	缶 154	9,437	缶 768	55,832	缶 545	37,858	缶 377	27,411	缶 0	0	缶 0	0	缶 377	27,411	
みかん缶用 ラベル	束 5	3,940	束 0	0	束 2	1,576	束 3	2,364	束 0	0	束 0	0	束 3	2,364	200枚
みかん缶用 塩酸	リットル 16.8	3,176	リットル 0	0	リットル 0.96	181	リットル 15.84	2,995	リットル 0	0	リットル 0	0	リットル 15.84	2,995	
計		227,312		2,043,354		2,174,041		96,623		2,000,756		1,998,377		99,004	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 875,905	円 875,905	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	44,805	44,805	0	
所得税	22,171	364,917	362,207	24,881	
区市町村民税	22,800	397,400	399,600	20,600	
保証金	193,000	0	0	193,000	
計	237,971	1,683,027	1,682,517	238,481	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 500,569	円 500,569	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	20,554	20,554	0	
所得税	24,881	225,537	223,719	26,699	
区市町村民税	20,600	155,600	139,800	36,400	
保証金	193,000	0	0	193,000	
計	238,481	902,260	884,642	256,099	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	
						左のうち、5年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般	(11) 教育費	(02) 教育委員会費	(03) 教育管理費	/	291,471	/
	一般	(11) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費		3,763,254	
	一般	(11) 教育費	(07) 特別支援学校費	(02) 特別支援学校管理費		1,098,717	
計					4,345,836	5,153,442	0
(14) 工事請負費	一般	(11) 教育費	(02) 教育委員会費	(03) 教育管理費	/	5,856,400	/
計					539,000	5,856,400	0
(16) 公有財産購入費					/	/	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	(11) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費	/	1,006,236	/
	一般	(11) 教育費	(08) 学校教育費	(01) 高校教育費		267,410	
計					1,669,089	1,273,646	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	(11) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費	/	65,746,060	/
計					66,041,700	65,746,060	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/	/	/
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	(12) 教育費	(02) 教育委員会費	(03) 教育管理費	0	0
	一般	(12) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費	1,431,041	0
	一般	(12) 教育費	(07) 特別支援学校費	(02) 特別支援学校管理費	483,254	0
計					1,914,295	0
(14) 工事 請負費						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般	(12) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	(12) 教育費	(05) 高等学校費	(02) 高等学校管理費	16,080,760	0
計					16,080,760	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	0

□□□□□

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 可燃物収集運搬処分業務委託	(株)静岡清掃企業	運搬料単価 25,000.8円 処分料単価 11円	円	円	円	一般	6.4.5 ～ 7.3.31	6.5.31	251,966	静岡市内13校分の可燃物収集運搬処理業務 静岡市立特別支援学校 静岡中央高校 静岡商業高校 静岡北特別支援学校 静岡南特別支援学校	単価契約 静岡農業高校 静岡高校 静岡城北高校 静岡東高校 静岡西高校 駿河総合高校 静岡中央高校 科学技術高校 静岡商業高校 静岡北特別支援学校 静岡南特別支援学校
				6.6.28	287,265							
				6.7.31	276,254							
				6.8.30	265,386							
				6.9.30	217,650							
				6.10.31	305,320							
				6.11.29	319,560							
				6.12.26	340,695							
				7.1.31	342,450							
				7.2.28	308,500							
				7.3.31	272,125							
7.4.30	296,280											
	(小計)	3,483,451										
2	エレベータ保守点検業務委託	日本オーチス・エレベータ(株)静岡支店	1,079,229	1,069,200	0	1,069,200	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31	89,100	エレベータ設備の保守点検	随契2号(不適)
									6.6.28	89,100		
									6.7.31	89,100		
									6.8.30	89,100		
									6.9.30	89,100		
									6.10.31	89,100		
									6.11.29	89,100		
									6.12.26	89,100		
									7.1.31	89,100		
									7.2.28	89,100		
									7.3.31	89,100		
7.4.30	89,100											
	(小計)	1,069,200										
3	浄化槽保守点検業務委託	(株)スター環境メンテック	30,800	29,040	0	29,040	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.6.28	7,260	井ヶ谷農場及び古山農場の浄化槽保守点検	随契1号(少額)
									6.9.27	7,260		
									6.12.26	7,260		
									7.3.28	7,260		
										(小計)		
4	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)古永	運搬料 11,000円	11,000円	0	11,000円	随契	6.8.9 ～ 6.12.27	6.11.19	107,800	産業廃棄物収集運搬処分業務	単価契約 随契1号(少額)
			処分料単価 12,100円	12,100円	0	12,100円						
5	産業廃棄物(廃液処理)収集運搬処分業務委託	ジャパンウェイト(株)	64,680	64,680	0	64,680	随契	6.11.14 ～ 7.2.28	7.1.31	64,680	産業廃棄物(廃液処理)収集運搬処分業務	随契1号(少額)
6	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)古永	運搬料 11,000円	11,000円	0	11,000円	随契	6.11.28 ～ 7.3.31	7.2.21	107,800	産業廃棄物収集運搬処分業務	単価契約 随契1号(少額)
			処分料単価 12,100円	12,100円	0	12,100円						
事務関係計		6件								4,861,971		
(工事関係)												
1	有害物質含有調査業務委託	(株)エコアップ	345,400	311,300	▲19,829	291,471	随契	6.11.8 ～ 7.2.28	7.2.21	291,471	井ヶ谷農場貯蔵庫有害物質含有調査業務	単価契約 随契1号(少額)
工事関係計		1件								291,471		
合計		7件								5,153,442		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	文 出 年 月 日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						

参考 1	消防用設備 等保守点検 業務委託	(有)コーセイ 産業		7,117,792	▲ 1,478	7,116,314		6.4.1 ～ 7.3.31			消防用諸 設備の保守 点検	静岡東高校 市内8校分
2	白家用電気 工作物保安 管理業務 委託	静岡ビル 保善(株)		2,626,800	▲ 52,800	2,574,000		6.4.1 ～ 7.3.31			電気工作 物の保守 点検	静岡西高校 市内5校分
3	プール浄化 装置保守 点検業務 委託	大宇産業(株)		739,200	▲ 61,600	677,600		6.4.15 ～ 6.11.15			プール浄化 装置の保守 点検	静岡西高校 市内11校分
4	警備業務 委託	エスピートム (株)		11,088,000	0	11,088,000		元.10.1 ～ 6.9.30			警備業務	駿河総合高校 市内14校分
5	警備業務 委託	エスピートム (株)		12,999,360	0	12,999,360		6.10.1 ～ 11.9.30			警備業務	駿河総合高校 市内14校分
6	ガスヒートポン プ点検業務 委託	(株)ユアーズ 静岡		2,409,000	0	2,409,000		6.5.22 ～ 7.3.31			ガスヒート ポンプ点 検業務	静岡高校 市内8校分
7	建築基準法 第12条に基 づく定期点検 業務委託	合同会社 石橋剛 設計事務所		3,850,000	0	3,850,000		6.8.13 ～ 7.1.31			建築基準法 12条に基 づく定期 点検業務	静岡商業高校 市内12校分
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 可燃物収集 運搬処分 業務委託	(株)静岡清掃 企業	運搬料単価 19,000円 処分料単価 15円	円	円	円	一般	7.4.7 ～ 8.3.31	7.5.30	314,565	静岡市内 13校分の 可燃物収 集運搬処 理業務	単価契約 静岡農業高校 静岡高校 静岡城北高校 静岡東高校 静岡西高校 駿河総合高校 静岡中央高校 科学技術高校 静岡商業高校 静岡聴覚特別支援学校 中央特別支援学校 静岡北特別支援学校 静岡北特別支援 学校南の丘分校 静岡南部特別支援学校
				7.6.30	350,760							
				7.7.31	344,325							
				7.8.29	312,735							
				7.9.30	232,485							
				(小計)	1,554,870							
2	エレベータ 保守点検 業務委託	日本オーチ ス・エレベータ (株)静岡支店	1,376,100	1,376,100	0	1,376,100	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.7.31	344,025 (小計) 344,025	エレベー タ設備の 保守点検	随契2号 (不適)
3	浄化槽保守 点検業務 委託	(株)スター環境 メンテック	35,200	30,800	0	30,800	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.6.30 7.9.30	7,700 7,700 (小計) 15,400	井ノヶ谷 農場及び 国古田農 場の浄化 槽保守点 検	随契1号 (少額)
4	産業廃棄物 収集運搬処 分業務委託	(株)吉水	運搬料 11,000円 処分料単価 12,100円	11,000円 12,100円	0 0	11,000円 12,100円	随契	7.4.30 ～ 7.9.30			産業廃棄 物収集運 搬処分業 務	随契1号 (少額)
	事務関係計	4件								1,914,295		
	(工事関係)											
	工事関係計	0件								0		
	合計	4件								1,914,295		
参考												
1	消防用設備 等保守点検 業務委託	(有)コーセイ 産業	/	8,067,345	290,331	8,357,676	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	消防用諸 設備の保 守点検	静岡東高校 市内8校分
2	自家用電気 工作物保安 管理業務 委託	静岡ビル 保善株	/	2,714,360	0	2,714,360	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	電気工作 物の保守 点検	静岡西高校 市内5校分
3	プール浄化 装置保守 点検業務 委託	三笠産業(有)	/	774,400	0	774,400	/	7.4.14 ～ 7.11.28	/	/	プール浄化 装置の保 守点検	静岡西高校 市内10校分
4	警備業務 委託	エスビトーム (株)	/	12,999,360	0	12,999,360	/	6.10.1 ～ 11.9.30	/	/	警備業務	駿河総合高校 市内14校分
5	ガスヒートポン プ点検業務 委託	(株)ユアーズ 静岡	/	2,791,800	0	2,791,800	/	7.5.26 ～ 8.3.31	/	/	ガスヒート ポンプ点 検業務	静岡高校 市内8校分
6	建築基準法 第12条に基 づく定期点検 業務委託	N.concept 建築計画二級 建築士事務所	/	3,520,000	0	3,520,000	/	7.8.12 ～ 8.1.30	/	/	建築基準法 12条に基 づく定期 点検業 務	静岡商業高校 市内12校分
	計	6件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会会費	静岡中央地区安全運転管理協会 会長 望月 克政	地区内車両保有事業所の車両台数による会費算出	「交通事故総量削減」等活動、法定講習会	18,000	6.4.25
2	全国農業高等学校長協会総会・春季研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会理事長 吉野 剛文	開催要項	全国農業高等学校長協会総会並びに春季研究協議会	3,000	6.4.22
3	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長 石崎 規生	開催案内	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	6.4.30
4	令和6年度全国農業高等学校長協会通常会費	全国農業高等学校長協会理事長 吉野 剛文	全国農業高等学校長協会規約	農業教育に関する研修調査及び研究、農業教育の振興のための検定実施等	318,760	6.5.20
5	令和6年度全国農業高等学校長協会関東支部会費	全国農業高等学校長協会関東支部長 岩崎 秀太	全国農業高等学校長協会関東支部規約	農業教育に関する調査及び研究、農業教育の振興のための検定実施等の推進	44,000	6.5.21
6	全国農業高等学校長協会関東支部総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会関東支部総会並びに研究協議会実施委員長	実施要項	全国農業高等学校長協会関東支部総会並びに研究協議会	3,500	6.6.28
7	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部大会実施委員長	開催要項	全国高等学校農場協会関東支部大会	3,500	6.6.28
8	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	実施要項	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.5
9	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会参加費	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会神奈川大会実行委員長	実施要項	関東支部農業関係高等学校副校長・教頭研究協議会 神奈川大会	1,000	6.7.26
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 551名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,364,700	6.7.31
11	関東地区学校農業クラブ連盟大会千葉大会参加費	関東地区学校農業クラブ連盟大会事務局大会代表	実施要項	関東地区学校農業クラブ連盟大会千葉大会	3,000	6.8.9
12	産業教育振興中央会学校会費	公益財団法人産業教育振興中央会理事長	会員規程	産業教育の振興及び質的水準の維持向上のための教員の研究活動の奨励、生徒の学習の奨励等	453,000	6.9.20
13	全国農業高等学校長協会全国理事会・総会等参加費	全国農業高等学校長協会理事長 吉野 剛文	開催要項	全国農業高等学校長協会総会並びに秋季研究協議会	3,000	6.10.11
14	日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会参加費	第75回日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会事務局長	実施要項	日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会	20,000	6.10.11
15	高等学校等就学支援金	全口制高等学校授業料(第2期分545名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	26,898,300	6.10.31
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	39,600	6.11.29
17	高等学校等就学支援金	全口制高等学校授業料(第2期分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.12.9
18	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分543名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,502,800	7.1.31
19	安全運転管理者講習会参加費	一般社団法人静岡県安全運転管理協会	道路交通法第108条の2第1項第1号	安全運転管理者講習会の受講	4,500	7.2.6
20	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	7.3.17
	計	20件			65,746,060	

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会会費	静岡中央地区安全運転管理協会 会長 望月 克政	地区内車両保有事業所の車両台数による会費算出	「交通事故総量削減」等活動、法定講習会	円 18,000	7.4.30
2	全国農業高等学校長協会総会・春季研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会理事長 吉野 剛文	開催要項	全国農業高等学校長協会総会並びに春季研究協議会	3,000	7.4.21
3	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長 内田 隆志	開催案内	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	7.4.30
4	令和7年度全国農業高等学校長協会通常会費	全国農業高等学校長協会理事長 吉野 剛文	全国農業高等学校長協会規約	農業教育に関する研修調査及び研究、農業教育の振興のための検定実施等	319,960	7.5.30
5	令和7年度全国農業高等学校長協会関東支部会費	全国農業高等学校長協会関東支部長 岩崎 秀太	全国農業高等学校長協会関東支部規約	農業教育に関する調査及び研究、農業教育の振興のための検定実施等の推進	44,000	7.6.10
6	全国農業高等学校長協会関東支部総会・研究協議会参加費	全国農業高等学校長協会関東支部総会並びに研究協議会実施委員長	実施要項	全国農業高等学校長協会関東支部総会並びに研究協議会	3,500	7.6.27
7	全国高等学校農場協会関東支部大会参加費	全国高等学校農場協会関東支部大会実施委員長	開催要項	全国高等学校農場協会関東支部大会	7,000	7.6.27
8	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会会長	実施要項	東海四県高等学校長連絡協議会	2,000	7.7.3
9	令和7年度学校農業クラブ指導者養成講座参加費	日本学校農業クラブ連盟代表 岩崎 秀太	実施要項	学校農業クラブ指導者養成講座	3,000	7.7.4
10	産業教育振興中央会学校会費	公益財団法人産業教育振興中央会理事長	会員規程	産業教育の振興及び質的水準の維持向上のための教員の研究活動の奨励、生徒の学習の奨励等	556,000	7.7.25
11	第42回東海地区学校図書館研究大会(静岡大会)参加費	東海地区学校図書館研究大会会長	開催要項	東海地区学校図書館研究大会	3,000	7.7.25
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分510名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,117,300	7.7.31
計		12件	/	/	16,080,760	/

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	静岡農業高等学校 農場高圧ケーブル 更新工事	静岡市葵区 古庄地内	913,000	880,000	▲ 6,600	873,400
2	教育管理費	静岡農業高等学校 保健室等空調機 更新工事	静岡市葵区 古庄地内	5,038,000	4,983,000	0	4,983,000
		合 計	2件	5,951,000	5,863,000	▲ 6,600	5,856,400

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)シズデン	着手 6.7.27 完成 7.3.27	873,400	校内農場高圧ケーブル更新 電線 EM-CET 38mm ² 20m 電線 PDC 38mm ² 9m	-	令達日 6.6.26 支払日 7.4.15 随契1号 (少額)
指名	(株)エヌ・ティ・アドバンス	着手 7.1.23 完成 7.3.27	4,983,000	保健室・進路室空調機更新工事 保健室室外機 三菱電機 PCZ-ERMP80SK4 2台 進路室室外機 三菱電機 PCZ-ERMP80SK4 1台 三菱電機 MSZ-GV3624-W 1台	済	令達日 6.12.19 支払日 7.4.30 指名
			5,856,400			

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算 科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
参考1	教育管理費	令和7年度 静岡農業高等学校 体育館屋根改修工事	静岡市葵区古庄 地内	45,925,000	42,350,000	1,551,000	43,901,000
参考2	教育管理費	令和7年度 静岡農業高等学校 農場温室暖房配管改 修工事	静岡市葵区古庄 地内	8,646,000	8,224,700	0	8,224,700
		合 計	2件	54,571,000	50,574,700	1,551,000	52,125,700

事 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	(株)神谷工務店	着手 R7.6.11 完成 R7.12.1	16,940,000	体育館屋根の改修工事	—	本庁経 理 建築工 事課
指名	アイ設備 株式会社	着手 R7.8.7 完成 R7.11.5	3,280,000	農場温室暖房用屋外埋設配管の 改修	予	本庁経 理 設備課
			20,220,000			

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 8,061,855		千円 43,946		千円 46,387		千円 8,059,414	
土 地	m ² 159,446.76	7,106,649					m ² 159,446.76	7,106,649	
立木竹	本 20 m ³ 2,045.29	1,217 33,098					本 20 m ³ 2,045.29	1,217 33,098	
建 物	m ² 建 9,497.81 延 17,114.95	879,732				41,874	m ² 建 9,497.81 延 17,114.95	837,858	
工作物	個 147	41,159	4	43,946		4,513	個 151	80,592	
普通財産		54,647				1,227		53,420	
土 地	m ² 350.00	51,636					m ² 350.00	51,636	
建 物	m ² 建 152.27 延 248.93	3,011				1,227	m ² 建 152.27 延 248.93	1,784	
工作物	個 2						個 2		
公有財産に 準ずるもの		337						337	
電話加入権	件 7	337					件 7	337	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年9月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 8,059,414		千円 4,579		千円		千円 8,063,993	
土 地	m ² 159,446.76	7,106,649					m ² 159,446.76	7,106,649	
立木竹	本 20 m ³ 2,045.29	1,217 33,098					本 20 m ³ 2,045.29	1,217 33,098	
建 物	m ² 建 9,497.81 延 17,114.95	837,858					m ² 建 9,497.81 延 17,114.95	837,858	
工作物	個 151	80,592	2	4,579			個 153	85,171	
普通財産		53,420						53,420	
上 地	m ² 350.00	51,636					m ² 350.00	51,636	
建 物	m ² 建 152.27 延 248.93	1,784					m ² 建 152.27 延 248.93	1,784	
工作物	個 2						個 2		
公有財産に 準ずるもの		337						337	
電話加入権	件 7	337					件 7	337	

借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	水路敷	静岡市葵区古庄三丁目515-11、-7	—	河川	m ² 61.93		円 無償	6. 4. 1 ～ 11. 3. 31	静岡市長	橋
2	"	"	"	—	河川	m ² 6.30		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
3	"	道路	静岡市葵区古庄3-1-1	—	道路	m 5.25		"	5. 4. 1 ～ 15. 3. 31	"	雨水管
4	建物	事務所建	静岡市葵区古庄3-1-1	鉄筋コンクリート造	2階建	m ² 141.17 289.44		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	一般社団法人静岡県立静岡農業高等学校後援会長	卓球場
5	"	倉庫建	"	コンクリートブロック造	平屋建	m ² 37.53 37.53		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	運動部 部室
6	"	雑居建	"	軽鉄骨造	"	m ² 7.06 7.06		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	物置
7	"	"	"	"	"	m ² 6.20 6.20		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
8	"	"	静岡市駿河区国吉田桃源寺山ノ坪	"	"	m ² 11.15 11.15		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
9	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	m ² 11.21 11.21		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
10	"	"	静岡市駿河区国吉田桃源寺山ノ坪	"	"	m ² 7.04 7.04		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
11	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	m ² 10.80 10.80		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
12	"	"	静岡市葵区古庄4-18-1	"	"	m ² 16.96 16.96		"	4. 4. 1 ～ 9. 3. 31	"	"
13	工作物	雑工作物	静岡市葵区古庄3-1-1	鉄筋コンクリート造	—	個 1		"	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	"	国旗 掲揚台
14	"	照明装置	"	—	—	個 1		"	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	"	ハンド ボール コート 夜間照明
15	"	雑工作物	"	石造	—	個 1		"	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	"	胸像
16	"	"	"	—	—	個 1		"	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	"	モニュ メント
17	"	"	"	—	—	個 1		"	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	"	二宮 尊徳像
18	"	"	"	石造	—	個 1		"	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	"	記念 植樹碑
19	"	冷暖房装置	"	—	—	個 1		3,988,519	6. 7. 1 ～ 19. 6. 30	N T T ・ T C リース株式会 社静岡支店	特別教室 空調
20	立木竹	樹木	"	—	—	本 1		無償	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	一般社団法人静岡県立静岡農業高等学校後援会長	記念植樹
計								円 3,988,519			

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可 期間	貸付又は使用許可を受 けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市葵区古庄3-1-1	学校用地	学校用地	本1	1,500	円 1,500	7.4.1 ～ 10.3.31	(株)トコちゃんねる静岡	鋼管柱(有線テレビ施設) 1本
2	"	実習敷地	静岡市葵区古庄4-18-1	"	畑	本1	1,730	1,730	7.4.1 ～ 10.3.31	"	"
3	"	学校敷地	静岡市葵区古庄3-1-1	"	学校用地	本31	-	50,520	7.4.1 ～ 12.3.31	中部電力パワーグリッド(株)静岡営業所長	本柱 17本 支線 13本 支線柱 1本
4	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	本2	1,500	3,000	4.10.6 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	支線 2本
5	"	実習敷地	静岡市葵区古庄4-18-1	"	畑	本2	1,730	3,460	4.4.1 ～ 9.3.31	"	支線 2本
6	"	"	静岡市駿河区国吉田字桃源寺山ノ坪	畑	"	本3	1,730	5,190	4.4.1 ～ 9.3.31	"	本柱 1本 支線 2本
7	"	"	静岡市葵区北沼上字井戸ヶ谷177	"	"	本1	1,730	1,730	4.4.1 ～ 9.3.31	"	本柱 1本
8	"	学校敷地	静岡市葵区古庄3-1-1	学校用地	学校用地	本4	1,500	6,000	4.4.1 ～ 9.3.31	"	本柱 3本 支線 1本
9	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	0.62 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡市長	道路照明灯
10	"	実習敷地	静岡市葵区古庄4-18-1	"	畑	0.02	-	"	7.4.1 ～ 10.3.31	"	道路照明灯
11	"	"	静岡市葵区古庄4-18-1	"	"	0.18 m ²	-	"	7.4.1 ～ 10.3.31	"	道路反射鏡
12	"	学校敷地	静岡市葵区古庄3-1-1	"	学校用地	22.90 m ²	-	"	4.4.1 ～ 9.3.31	"	耐震性貯水槽
13	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	18.24 m ²	-	"	7.4.1 ～ 12.3.31	"	防災倉庫
14	"	"	静岡市葵区古庄3-1-1	"	"	0.60 m ²	-	"	7.4.1 ～ 12.3.31	"	避難地標識板
15	建物	事務所建	静岡市葵区古庄3-1-1	鉄骨鉄筋コンクリート5階(本館)		0.02 m ²	-	"	7.4.1 ～ 12.3.31	"	戸別受信機(同報無線)
16	建物	事務所建	静岡市葵区古庄4-18-1	鉄骨平屋		3.00 m ²	-	"	7.4.1 ～ 12.3.31	"	防災備蓄品(毛布)置場

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 日		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可を受 けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
17	土地	災害 敷地	静岡市葵区 古庄 4-18-1	学校 用地	畑	m ² 0.22	—	免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	古庄自治会長	外灯(防犯灯)
18	建物	事務 所建	静岡市葵区 古庄 3-1-1	鉄骨鉄筋 コンクリ ート5階 (本館)		m ² 12.73	—	〃	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	一般社団法人 静岡県立静岡農業 高等学校後援会長	パン売場
19	〃	〃	静岡市葵区 古庄 3-1-1	鉄骨鉄筋 コンクリ ート5階 (本館)		m ² 3.30	—	〃	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	〃	団体職員の 執務場所
20	土地	学校 敷地	静岡市葵区 古庄 3-1-1	学校 用地	学校 用地	m ² 6.80	—	〃	7. 2. 17 ～ 7. 4. 11	静岡市葵区選挙管理委 員会委員長	静岡市議会議 員葵区選挙区 ポスター掲示 場
21	土地	学校 敷地	静岡市葵区 古庄 3-1-1	〃	〃	m ² 4.00	—	1,600,000	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	サントリービバレッジ ソリューション(株)	飲料用自動販売 機及び容器回収 ボックス
22	建物	事務 所建	静岡市葵区 古庄 3-1-1	鉄骨鉄筋 コンクリ ート5階 (本館)		m ² 2.00	—	329,963	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	〃	〃
合計								2,003,093			

□□□□□

職員公舎管理状況調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	B の内他事 務所職員入 居戸(室)数	空屋戸 (室)数 (A-B)	摘 要
1	静岡市葵区 杓谷6-2-13	S 55.3	鉄筋コン クリート 2階建 1棟	4	1	1	3	空屋戸 101号 令和5年9月7日から 102号 令和6年7月29日から 104号 令和7年4月1日から 中央特別支援学校 1戸
	計			4	1	1	3	

□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購 入 年 月	購入金額
	大・中	小				
1	7-1	育成用機器	複合温室制御装置 温室用複合環境制御装置 9式 温室環境制御盤 9式 温湿度センサー9式、外気温セン サー9式、日射センサー、風光風速 センサー、感雨センサー、 中火監視装置	園芸実習授業 通年	令和4年3月	34,870,000
2	7-1	加工用機器	製茶装置(穀物調整機) コンテナ2、ボイラ1、給葉機1、 蒸機1、冷却機1、葉付機1、粗揉機 1、揉捻機1、中揉機1、中火台1、 精揉機1、乾燥機2、選別機2、 唐箕機1、仕上機1、包装機1、 粉碎機1、コンベヤ5	茶加工実習授業 年間30日	平成9年3月	25,235,000
3	2-1	その他の情報処理機器	造園CADシステム サーバ1台、デスクトップパソコ ン(教師機、生徒機)22台、 カラーレーザープリンター1台、 モノクロLEDプリンター1台、 カラー大判プリンター1台、 書画カメラ1台、AppleTV1台、 天吊プロジェクター、We b カメラ、授業支援ソフト、LAN機器	造園計画等実習授業 通年	令和4年3月	19,349,000
4	5-1	引張機器	万能材料試験機 ユニバーサルテスティングマシ ン、ユニバーサルテスタ、 コンプレッサ	農業土木実習授業 年間50日	昭和63年3月	15,200,000
5	7-1	その他の農産用機器	全自動注液巻縮機 巻縮機、注液機、注液連動入口、 出口ベルトコンベヤ、バキューム ポンプ	食品製造実習授業 年間20日	平成7年3月	12,493,900
6	5-99	試験実験機器	水理実験装置 東京機械研究所No.1041	農業土木実習授業 年間30日	昭和60年3月	11,140,468
7	7-1	その他の農産用機器	真空巻縮機 昭和缶詰鋼機401M-A型	食品製造実習授業 年間10日	平成18年3月	10,479,000
8	7-1	加工用機器	蒸気式食品加工釜装置 (滅菌装置) 小型蒸機ボイラ1台、回転式蒸気 釜1台、真空釜1台	食品製造実習授業 年間20日	平成10年3月	8,074,500

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購 入 年 月	購入金額
	大・中	小				
9	2-1	パーソナルコンピュータ（一式）	ファイルサーバ1台、バックアップ装置1台、バックアップソフト1台、デスクトップパソコン（教師機、生徒機）43台、カラーレーザープリンター1台、モノクロレーザープリンター1台、インタラクティブプロジェクター1台、ソフトウェア、LAN機器	情報処理授業用 年間150日	令和元年8月	5,922,936
10	7-1	貯蔵用機器	半自動型充填機 FTB-3/500ID カフェオレパック用	食品製造実習授業 年間10日	平成2年3月	5,402,350
11	2-1	パーソナルコンピュータ（一式）	電子黒板付プロジェクター6台 ipad 80台、専用収納箱2台	ICT授業用 年間150日	平成30年3月	5,216,400
12	1-14	エアコンディショナー	空気調和装置(エアコン) 室外機3、室内機5	農業情報基礎実習 授業等 通年	平成11年3月	4,777,500
13	7-1	運搬用機器	ホイールローダー 三菱 WS300A2	造園・農業土木実習 授業 年間40日	平成3年8月	4,727,700
14	3-2	その他の観察・観測 用光学機器	顕微鏡デジタルカメラシステム 顕微鏡デジタルカメラ デスクトップパソコン	農業と環境授業 年間40日	平成13年1月	4,635,750
15	6-99	その他の諸機器	散水装置 受水槽 ステンレス製パネルタンク 10m ³	園芸実習授業 通年	平成8年3月	4,470,893
16	2-1	パーソナルコンピュータ（一式）	LL・パソコン教室 サーバ：PGT1574H63 1台、 デスクトップパソコン 富士通FMVDG3R0F1 教員用1台 生徒用42台、プリンターIPS10 SP6210 2台、IPS10 SP C720 1台	情報処理授業 年間150日	平成23年7月	4,410,000
17	5-4	培養機器	バイオリアクター装置 EYELA製 東京理化 MBF EPC CONTROLBOX	食品課題研究授業 年間5日	平成3年3月	3,945,930
18	7-1	その他の農産用機器	業務用生ごみ処理機 静甲 SNG-75	野菜残さ処理用 年間5日	平成12年3月	3,748,500
19	1-13	調理器具	デッキオープン 三幸機械 TMC-CGGC-21型	食品製造授業等 年間100日	平成27年9月	3,573,720
20	5-4	培養機器	簡易バイオリアクター装置 東京理化 MBRS-051J	食品課題研究授業 年間5日	平成3年3月	3,573,070

□□□□□

動物管理状況調

(令和6年度)

品名	区分 品種	令和6年3月31日 現在 頭羽数	増				減				頭羽数 差引	摘要	
			分類 換	購入	管理換 その他	計	分類換 売 却		死亡	管理換 その他			計
							出生	購入					
羊		1										1	
計		1										1	

令和7年度中増減なし

□□□□□

生産物受払調

令和7年9月30日現在

区分	品名 (単位)	生葉 (kg)				荒茶 (kg)				茶(仕上) (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	3,702	3,702	3,702	0	/	/	/	/	/	/	/	/	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	852.4	1,040.0	824.3	187.6	187.5	208.8	173.5	21.3	196.6	208.9	215.9	12.3	
	計	852.4	1,040.0	824.3	187.6	187.5	208.8	173.5	21.3	196.6	208.9	215.9	12.3	
単位数量(イ/ア)		0.23	0.28	0.22	0.05	/	/	/	/	/	/	/	/	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	21.7	/	/	/	/	/	/	/	/	
払高	売払数量	0	0	0	0	0	0	0	0	196.60	208.90	188.10	12.3	
	売払金額	0	0	0	0	0	0	0	0	1,056,200	1,102,700	1,026,700	46,500	
	非売品 数量	分類換	852.4	1,040.0	824.3	187.6	187.5	208.8	173.5	21.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	852.4	1,040.0	824.3	187.6	187.5	208.8	173.5	21.3	196.6	208.9	188.1	12.3	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27.8	0.0	
摘要														

区分	品名 (単位)	茶(棒) (kg)				きゅうり(温室) (kg)				トマト(温室) (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	/	/	/	/	350	350	350	0	479	0	0	△ 479	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	12.0	20.6	11.0	8.6	366.3	292.0	197.55	△ 74.3	116.70	0.00	0.00	△ 116.70	
	計	12.0	20.6	11.0	8.6	366.3	292.0	197.55	△ 74.3	116.7	0.00	0.00	△ 116.70	
単位数量(イ/ア)		/	/	/	/	1.05	0.83	0.56	△ 0.22	0.24	0.00	0.00	△ 0.24	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	/	/	/	/	△ 21.0	/	/	/	△ 100.0	
払高	売払数量	12.0	20.6	9.2	8.6	366.3	292.0	197.55	△ 74.3	116.7	0.00	0.00	△ 116.70	
	売払金額	18,000	82,400	36,800	34,400	78,300	78,600	43,900	300	41,500	0	0	△ 41,500	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12.0	20.6	9.2	8.6	366.3	292.0	197.55	△ 74.3	116.7	0	0.00	△ 116.70	
残高又は繰越数量		0	0	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

令和7年9月30日現在

区分	品名 (単位)	ミニトマト (kg)				タマネギ (kg)				ナス (温室) (kg)			
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a
作付面積	(ア)	479	479	479	0	0	18	18	18	36	36	36	0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	75.10	174.55	52.50	99.5	0.00	30.00	3.00	30.0	42.29	53.50	60.00	11.2
	計	75.10	174.55	52.50	99.5	0	30.00	3.00	30.0	42.29	53.50	60.00	11.2
単位数量(イ/ア)		0.16	0.36	0.11	0.20	0.00	1.67	0.17	1.67	1.17	1.49	1.67	0.32
同前年比(%)		/			100.0	/			0.0	/			27.4
払高	売払数量	75.1	174.55	52.50	99.5	0.0	30.00	3.00	30.0	42.29	53.50	60.00	11.2
	売払金額	49,800	76,150	21,000	26,350	0	3,000	8,100	3,000	12,500	10,700	15,000	△ 1,800
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	75.1	174.55	52.50	99.5	0	30	3.00	30.0	42.29	53.5	60.00	11.2
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘 要													

区分	品名 (単位)	ピーマン (温室) (kg)				メロン (kg)				ダイコン (温室) (kg)			
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a
作付面積	(ア)	36	36	36	0	418	418	418	0	18	18	18	0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	42.30	16.25	27.50	△ 26.05	477.05	681.25	401.00	204.20	36.0	138.2	0.0	102.2
	計	42.3	16.25	27.50	△ 26.05	477.05	681.25	401.00	204.20	36.0	138.2	0.0	102.2
単位数量(イ/ア)		1.18	0.45	0.76	△ 2.38	1.14	1.63	0.96	0.49	2.00	7.68	0.00	5.68
同前年比(%)		/			△ 201.7	/			43.0	/			284.0
払高	売払数量	42.30	16.25	27.50	△ 26.05	477.05	681.25	401.00	204.20	36.0	138.2	0.0	102.2
	売払金額	21,900	6,500	11,000	△ 15,400	654,300	479,000	401,000	△ 175,300	1,800	11,700	0	9,900
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	42.3	16.25	27.50	△ 26.05	477.05	681.25	401.00	204.20	36.0	138.2	0.0	102.2
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘 要													

区分	品名 (単位)	ハクサイ(温室)(kg)				ブロッコリー(温室)(kg)				キャベツ(温室)(kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	18	18	18	0	18	18	18	0	18	18	18	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	70.0	164.5	0	94.5	40.0	18.0	0.0	△ 22.0	25.0	38.0	0.0	13.0	
	計	70.0	164.5	0	94.5	40.0	18.0	0.0	△ 22.0	25.0	38.0	0.0	13.0	
単位数(イ/ア)		3.89	9.14	0.00	5.25	2.22	1.00	0.00	△ 1.22	1.39	2.11	0.00	0.72	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			135.0	/			△ 55.0	/			51.8	
払高	売払数量	70.0	164.5	0	94.5	40.0	18.0	0.0	△ 22.0	25.0	38.0	0.0	13.0	
	売払金額	3,500	14,050	0	10,550	3,500	1,800	0	△ 1,700	1,500	6,500	0	5,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
		管理換 その他	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
	計	70.0	164.5	0	94.5	40.0	18.0	0.0	△ 22.0	25.0	38.0	0.0	13.0	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名 (単位)	イチゴ(kg)				ペロニア(鉢)				ペチュニア(鉢)			
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a
作付面積 (㎡)	(ア)	113	113	113	0	162	162	162	0	100	100	100	0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	43.91	21.6	0	△ 22.31	735	332	626	△ 403	391	365	189	△ 26
	計	43.91	21.6	0	△ 22.31	735	332	626	△ 403	391	365	189	△ 26
単位数(イ/ア)		0.39	0.19	0.00	△ 0.20	4.51	2.05	3.86	△ 2.49	3.91	3.65	1.89	△ 0.26
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			△ 51.3	/			△ 54.9	/			△ 6.7
払高	売払数量	43.91	21.6	0	△ 22.31	735	332	626	△ 403	391	365	189	△ 26
	売払金額	58,900	27,000	0	△ 31,900	117,450	97,080	116,800	△ 20,370	22,560	37,010	15,720	14,450
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	43.91	21.6	0	△ 22.31	735	332	626	△ 403	391	365	189	△ 26
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

令和7年9月30日現在

区分	品名 (単位)	サルビア (鉢)				マリーゴールド (鉢)				インパチェンス (鉢)			
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a
作付面積	(㎡)	108	108	108	0	130	130	130	0	60	60	60	0
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	418	472	100	54	361	0	0	△ 361	40	281	60	241
	計	418	472	100	54	361	0	0	△ 361	40	281	60	241
単位数量(イ/ア)		3.87	4.37	0.93	0.50	2.78	0.00	0.00	△ 2.78	0.67	4.68	1.00	4.01
同前年比(%)		/			12.9	/			△ 100.0	/			100.0
払高	売払数量	418	472	100	54	361	0	0	△ 361	40	281	60	241
	売払金額	22,350	31,200	8,000	8,850	19,510	0	0	△ 19,510	2,400	25,800	5,400	23,400
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	418	472	100	54	361	0	0	△ 361	40	281	60	241
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要													

区分	品名 (単位)	パンジー (鉢)				ハボタン (鉢)				シクラメン (鉢)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積	(㎡)	292	292	292	0	100	100	100	0	130	130	130	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	3,343	3,605	0	262	239	88	0	△ 151	183	321	0	138	
	計	3,343	3,605	0	262	239	88	0	△ 151	183	321	0	138	
単位数量(イ/ア)		11.45	12.35	0.00	0.90	2.39	0.88	0.00	△ 1.51	1.41	2.47	0.00	1.06	
同前年比(%)		/			7.9	/			△ 63.2	/			75.2	
払高	売払数量	3,343	3,605	0	262	239	88	0	△ 151	179	321	0	142	
	売払金額	244,255	271,530	0	27,275	23,900	8,800	0	△ 15,100	142,900	285,800	0	142,900	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	-4
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,343	3,605	0	262	239	88	0	△ 151	183	321	0	138	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
摘要														

区分	品名 (単位)	ビオラ (鉢)				プリムラ (鉢)				デージー (鉢)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	40	40	40	0	76	76	76	0	40	0	40	-40	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	953	94	0	△ 859	91	130	0	39	168	0	0	-168	
	計	953	94	0	△ 859	91	130	0	39	168	0	0	168	
単位数量(イ/ア)		23.83	2.35	0.00	△ 21.48	1.20	1.71	0.00	0.51	4.20	0.00	0.00	△ 4.20	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			100.0	/			53.8	/			100.0	
払高	売払数量	953	94	0	△ 859	91	130	0	39	168	0	0	-168	
	売払金額	56,430	5,640	0	△ 50,790	9,700	10,000	0	300	11,680	0	0	△ 11,680	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	953	94	0	△ 859	91	130	0	39	168	0	0	-168	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

区分	品名 (単位)	ニチニチソウ (鉢)				キンセンカ (鉢)				アリッサム (鉢)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	0	108	108	108	0	20	20	20	0	20	20	20	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	500	420	500	0	50	0	50	0	162	0	162	
	計	0	500	420	500	0	50	0	50	0	162	0	162	
単位数量(イ/ア)		0.00	4.63	3.89	4.63	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00	8.10	0.00	8.10	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			0.0	/			0.0	/			0.0	
払高	売払数量	0	500	420	500	0	50	0	50	0	162	0	162	
	売払金額	0	36,520	35,150	36,520	0	3,000	0	3,000	0	11,340	0	11,340	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	500	420	500	0	50	0	50	0	162	0	162	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

令和7年9月30日現在

区分	品名 (単位)	トレニア (鉢)				コリウス (鉢)				トウモロコシ (露地) (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積	(㎡) (ア)	0	0	20	0	0	0	20	0	10	10	10	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	0	161	0	0	0	190	0	20.6	29.25	13.00	8.7	
	計	0	0	161	0	0	0	190	0	20.6	29.25	13.00	8.7	
単位数量(イ/ア)		0.00	0.00	8.05	0.00	0.00	0.00	9.50	0.00	2.06	2.93	1.30	0.87	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			0.0	/			0.0	/			42.2	
払高	売払数量	0	0	161	0	0	0	190	0	20.6	29.25	13.00	8.7	
	売払金額	0	0	9,850	0	0	0	13,300	0	4,900	7,800	3,900	2,900	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	161	0	0	0	190	0	20.6	29.25	13	8.7	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

区分	品名 (単位)	オクラ (露地) (kg)				エタメメ (露地) (kg)				ダイコン (露地) (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積	(㎡) (ア)	10	0	0	-10	10	10	10	0	10	10	10	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	16.22	0.00	0.00	△ 16.22	5.4	10.5	15.0	5.1	93.6	99.2	0.0	5.6	
	計	16.22	0.00	0.00	△ 16.22	5.4	10.5	15.0	5.1	93.6	99.2	0.0	5.6	
単位数量(イ/ア)		1.62	0.00	0.00	△ 1.62	0.54	1.05	1.50	0.51	9.36	9.92	0.00	0.56	
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			△ 100.0	/			94.4	/			6.0	
払高	売払数量	16.22	0.00	0	△ 16.22	5.4	10.5	15.0	5.1	93.6	99.2	0.0	5.6	
	売払金額	12,000	0	0	△ 12,000	4,600	3,500	6,000	△ 1,100	7,200	10,050	0	2,850	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	16.22	0.00	0	△ 16.22	5.4	10.5	15.0	5.1	93.6	99.2	0.0	5.6	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

区分	品名 (単位)	ブロッコリー (露地) (kg)				キャベツ (露地) (kg)				カリフラワー (露地) (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	5	5	5	0	10	10	10	0	10	10	10	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	30.0	46.0	0.0	16.0	26.0	25.9	0.0	△ 0.1	50.0	10.0	0.0	△ 40.0	
	計	30.00	46.0	0.0	16.0	26.0	25.9	0.0	△ 0.1	50.0	10.0	0.0	△ 40.0	
単位数量(イ/ア)		6.00	9.20	0.00	3.20	2.60	2.59	0.00	△ 0.01	5.00	1.00	0.00	△ 4.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100					53.3				△ 0.4				△ 80.0	
払高	売払数量	30	46.0	0.0	16.0	26.0	25.9	0.0	△ 0.1	50.0	10.0	0.0	△ 40.0	
	売払金額	3,000	4,600	0	1,600	2,600	4,700	0.0	2,100	6,750	1,000	0	△ 5,750	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	30	46	0	16.0	26.0	25.9	0.0	△ 0.1	50.0	10.0	0.0	△ 40.0	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名 (単位)	いちごジャム (本)				シナモンシュガーロール (個)				イングリッシュ (個)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (㎡)	(ア)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	791	830	854	39	1,504	1,806	903	302	229	276	138	47	
	計	791	830	854	39	1,504	1,806	903	302	229	276	138	47	
単位数量(イ/ア)		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
同前年比(%) (b-a)/a×100														
払高	売払数量	791	830	803	39	1,500	1,800	900	300	225	270	135	45	
	売払金額	276,850	332,000	321,200	55,150	150,000	180,000	90,000	30,000	45,000	54,000	27,000	9,000	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	4	6	3	2	4	6	3	2
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	791	830	803	39	1,504	1,806	903	302	229	276	138	47	
残高又は繰越数量		0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

令和7年9月30日現在

区分	品名 (単位)	レーズンパン (個)				みそ (パック) (kg)				みかん缶詰 (缶)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (m)	(ア)													
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	229	276	138	47	1,600	1,560	0	-40	686	391	0	△ 295	
	計	229	276	138	47	1,600	1,560	0	40	686	391	0	△ 295	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100														
払高	売払数量	225	270	135	45	1,600	1,560	0	-40	686	391	0	△ 295	
	売払金額	56,250	67,500	33,750	11,250	480,000	468,000	0	△ 12,000	96,040	70,380	0	△ 25,660	
	非売品 数量	分類換	4	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	229	276	138	47	1,600	1,560	0	-40	686	391	0	△ 295	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名 (単位)	甘夏 (kg)				梅 (kg)				みかん (kg)				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b-a	
作付面積 (m)	(ア)	600	600	600	0	100	100	100	0	2,569	2,569	2,569	0	
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	612.5	699	717	86.5	91.0	93.0	184.0	2.0	2,476.0	2,617.0	0	141	
	計	612.5	699.0	717	86.5	91.0	93.0	184.0	2.0	2,476.0	2,617.0	0	141	
単位数量(イ/ア)		1.02	1.17	1.20	0.15	0.91	0.93	1.84	0.02	0.96	1.02	0.00	0.06	
同前年比(%) (b-a)/a×100					14.7				2.2				6.3	
払高	売払数量	612.5	699.0	717.0	86.5	91.0	93.0	184.0	2.0	2,476.0	2,617.0	0	141	
	売払金額	122,500	139,800	143,400	17,300	36,400	46,500	73,600	10,100	495,200	623,900	0	128,700	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
	計	612.5	699.0	717	86.5	91.0	93.0	184.0	2.0	2,476.0	2,617.0	0	141	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

区分	品名 (単位)	ボンカン (kg)				計				
		令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b a	令和5年度 a	令和6年度 b	令和7年9月 30日現在	差 b a	
作付面積	(ア)	1,000	1,000	1,000	0					
受高	前年度繰越高	0	0	0	0					
	本年度生産高(イ)	346.2	600.8	0	254.6					
	計	346.2	600.8	0	254.6					
	単位数量(イ/ア)	0.35	0.60	0.00	0.25					
	同前年比(%) (b-a)/a×100				71.4					
払高	売払数量	346.2	600.8	0	254.6					
	売払金額	79,200	150,200	0	71,000	4,583,325	4,887,750	2,466,570	304,425	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0.0				
		管理換 その他	0	0	0	0.0				
	計	346.2	600.8	0	254.6					
	残高又は繰越数量	0	0	0	0					
	摘要									

□□□□

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	新林 章輝		□□□	□□□□	□□□□□
2	副校長	望月 基希		□□□	□□□□	□□□□□
3	教頭	村田 佳代		□□□	□□□□	□□□□□
4	事務長	加藤 淳子		□□□	□□□□	□□□□□
5	教諭	三枝 康志	国語	□□□	□□□□	□□□□□
6	教諭	小林 綾子	国語	□□□	□□□□	□□□□□
7	教諭	池田 雅孝	国語	□□□	□□□□	□□□□□
8	教諭	棚木 啓明	地歴・公民	□□□	□□□□	□□□□□
9	教諭	長谷 和志	地歴・公民	□□□	□□□□	□□□□□
10	教諭	山下 由委	地歴・公民	□□□	□□□□	□□□□□
11	教諭	田村 幸英	数学	□□□	□□□□	□□□□□
12	教諭	長井 高昭	数学	□□□	□□□□	□□□□□
13	教諭	梶野 直樹	数学	□□□	□□□□	□□□□□
14	教諭	剣持 茂樹	理科	□□□	□□□□	□□□□□
15	教諭	山本 恵	理科	□□□	□□□□	□□□□□
16	教諭	雑賀 千晴	理科	□□□	□□□□	□□□□□
17	教諭	梅原 幸正	保健・体育	□□□	□□□□	□□□□□
18	教諭	岩間 加奈子	保健・体育	□□□	□□□□	□□□□□
19	教諭	増田 健史	保健・体育	□□□	□□□□	□□□□□
20	教諭	内藤 孝	保健・体育	□□□	□□□□	□□□□□
21	教諭	山崎 恵美	外国語(英語)	□□□	□□□□	□□□□□
22	教諭	宇佐美 貞雄	外国語(英語)	□□□	□□□□	□□□□□
23	教諭	望野 裕子	外国語(英語)	□□□	□□□□	□□□□□
24	教諭	林 武雄	外国語(英語)	□□□	□□□□	□□□□□
25	教諭	大川 るみ	家庭	□□□	□□□□	□□□□□
26	教諭	前田 鮎子	家庭	□□□	□□□□	□□□□□
27	教諭	高野 允留	家庭	□□□	□□□□	□□□□□
28	教諭	村松 康弘	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
29	教諭	山中 浩典	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
30	教諭	望月 久資	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
31	教諭	佐野 有	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
32	教諭	飯田 英毅	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
33	教諭	土屋 輝史	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
34	教諭	大澤 貴史	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
35	教諭	森木 浩之	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
36	教諭	大岡 真吾	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
37	教諭	榊原 宏美	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
38	教諭	西村 和久	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
39	教諭	是永 史子	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
40	教諭	野田 雄太	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
41	教諭	鈴木 裕	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
42	教諭	市川 徹	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
43	教諭	清水 好未	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
44	教諭	望月 治希	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
45	教諭	望月 俊哉	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
46	教諭	星谷 友理	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
47	教諭	鈴木 快斗	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
48	教諭(実)	梅原 直樹	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
49	教諭(実)	山河 永治	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
50	教諭(実)	吉窪 裕幸	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
51	教諭(実)	橋本 東久	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
52	教諭(実)	亀山 裕史	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
53	教諭(実)	名倉 弥生	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
54	教諭(実)	森下 雄平	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
55	養護教諭	立石 敦子	養護	□□□	□□□□	□□□□□
56	実習助手	實石 周子	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
57	実習助手	関野 利萌	農業(生産)	□□□	□□□□	□□□□□
58	実習助手	坪井 翔	農業(環境)	□□□	□□□□	□□□□□
59	実習助手	山本 恵理子	農業(食品)	□□□	□□□□	□□□□□
60	主査	渡邊 眞弓	会計	□□□	□□□□	□□□□□
61	主査	堀口 勝仁	施設・管財	□□□	□□□□	□□□□□
62	主査	日尾 亜希子	給与	□□□	□□□□	□□□□□
63	主査	西川 真央	会計	□□□	□□□□	□□□□□
64	主任	永田 淑恵	会計	□□□	□□□□	□□□□□
65	主事	金子 裕樹	庶務	□□□	□□□□	□□□□□
	平均年数				5年 3月	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭	小林 康子	国語	□□□	□□□□	□□□□□
2	教諭	那須野 弘敏	農業（生産）	□□□	□□□□	□□□□□
3	教諭	山本 愛華	農業（食品）	□□□	□□□□	□□□□□
4	教諭	柴田 龍司	ジョブサポート ティーチャー	□□□	□□□□	□□□□□
5	実習助手	藤牧 美保	農業（食品）	□□□	□□□□	□□□□□
6	実習助手	加藤 美香	農業（食品）	□□□	□□□□	□□□□□
7	実習助手	杉山 慶吾	農業（環境）	□□□	□□□□	□□□□□
8	主事	前田 可奈	会計	□□□	□□□□	□□□□□
9	ALT	ダニエル イネケ ヴァン デル ストイ	外国語（英語）	□□□	□□□□	□□□□□
10	非常勤講師	稲葉 紀子	音楽	□□□	□□□□	□□□□□
11	非常勤講師	岩科 利佳	美術	□□□	□□□□	□□□□□
12	非常勤講師	爲實 いくこ	書道	□□□	□□□□	□□□□□
13	非常勤講師	増田 緑	茶文化	□□□	□□□□	□□□□□
14	非常勤嘱託員	田口 美幸	図書	□□□	□□□□	□□□□□
15	非常勤労務職員	阿井 雅章	用務	□□□	□□□□	□□□□□
16	非常勤労務職員	山下 竜也	用務	□□□	□□□□	□□□□□
17	非常勤労務職員	桐畑 卓	用務	□□□	□□□□	□□□□□
18	非常勤労務職員	澤田 光昭	業務	□□□	□□□□	□□□□□
19	非常勤労務職員	森田 哉	業務	□□□	□□□□	□□□□□
20	生産物管理嘱託員	石川 和宏	生産物管理	□□□	□□□□	□□□□□
21	校医	山本 洋史		□□□	□□□□	□□□□□
22	校医	宮城島 正和		□□□	□□□□	□□□□□
23	校医	瀧 怜		□□□	□□□□	□□□□□
24	校医	溝口 岳士		□□□	□□□□	□□□□□
25	薬剤師	南埜 達也		□□□	□□□□	□□□□□

□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	7 人	
30歳以上40歳未満	12 人	
40歳以上50歳未満	11 人	
50歳以上56歳未満	12 人	
56歳以上61歳未満	17 人	
61歳以上	6 人	暫定再任用職員 6人
計	65 人	平均年齢 47.9歳

□□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 73人 職員数 74人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

□□□□□ 1名

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	要 治 療	人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	42(2)人
D 2		要経過観察	17(2)人
D 3		医 療 不 要	14 人
区 分 者 計			73(4)人
未区分者数			人
合 計			73(4)人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□□□ 人
イ □□□□□ 人
ウ □□□□□ 人
エ □□□□□ 人
() 人